GHQ/SCAP Records(RG 331)
Description of contents

THE NATIONAL ARCHIVES OF THE UNITED STATES

(1) Box no. 2133

(2) Folder title/number: (18)
JCP Organization

(3) Date: May 1951 - June 1951

(4) Subject:

Classification	Type of record
332	c, d, r

(5) Item description and comment:
JCP: Japan Communist Party
Includes many Japanese documents

(6) Reproduction: (Yes) No

(7) Film no. Sheet no.

日教組決議機關

最高決議機関

大会
代議員約四八〇名
定期年一回(五月)
他に臨時大会を開くことあり

決議機関

中央委員会
委員約二五〇名
定期年四回
他に臨時に開くことあり

執行機関

中央執行委員会

都道府縣單位組合	各一名
大学高専部	四名
高校部	二名
私立学校部	一名
特殊学校部	一名
幼稚園部	一名
青年部	一名
婦人部	三名
事務職員部	一名

委員長
岡三郎
1名

機関

各一名
四名
二名
一名
一名
一名
三名
一名

委員会

委員長
岡三郎
1名

監査委員
各ブロック1名

副委員長
今村彰 | 大西正道
2名

書記長
魚谷時太郎
1名

会計委員
2名

書記次長
宮之原貞光 | 大原亨
2名

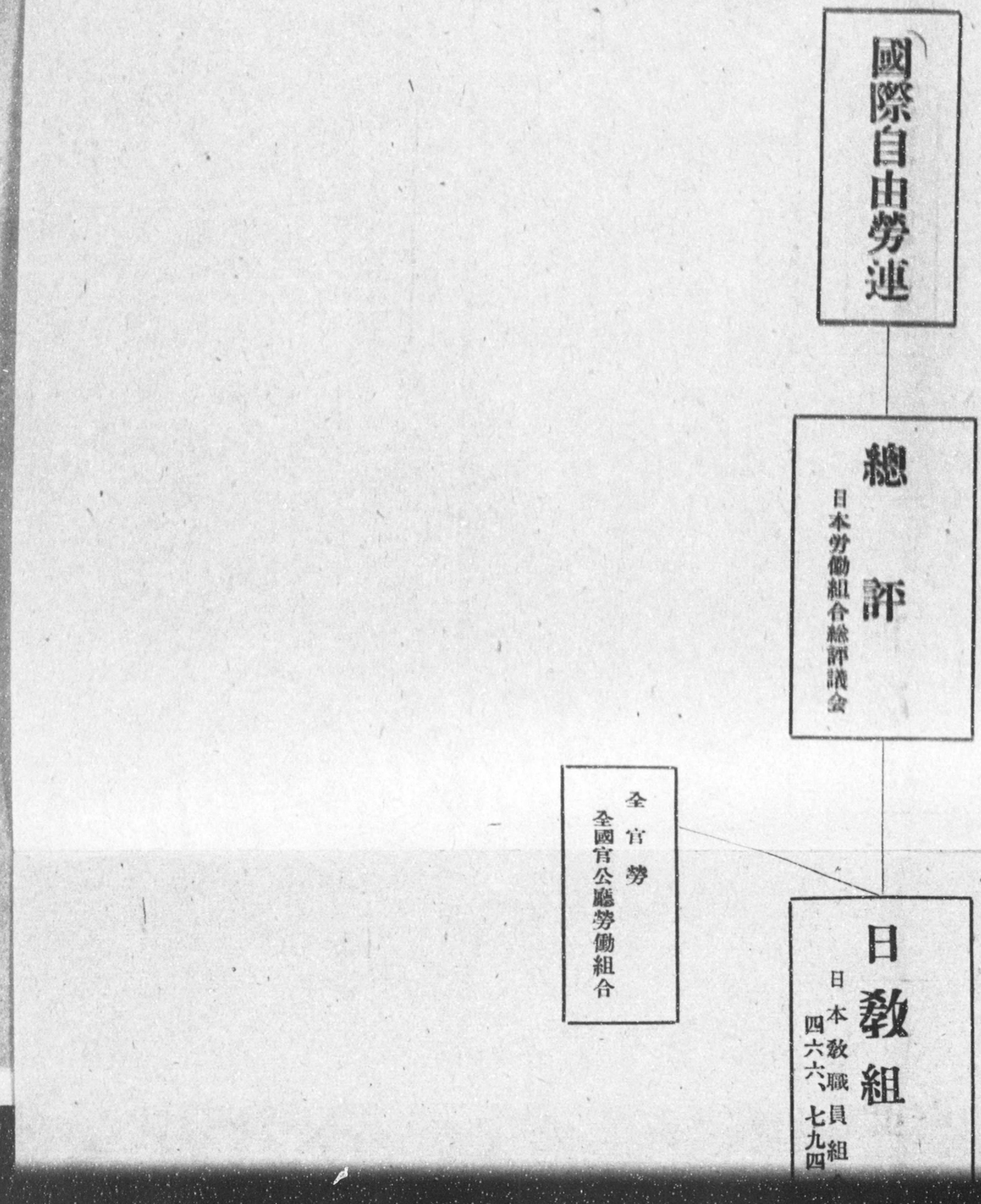
書記局

- 総務部部長 小林幸次
- 組織部部長 大原伴五
- 情宣部部長 和田敬久
- 政治部部長 塚原典夫
- 教文部部長 土橋兵藏
- 法制部部長 槇枝元文
- 教材部部長 星野健三
- 給対部部長 小谷進
- 出版部部長 東谷敏雄
- 厚生部部長 岸本登

学校部

- 青年部部長 佐竹周一
- 婦人部部長 森雅代
- 幼稚園部部長 丸山ひろ子
- 小学校部部長 岸本登
- 中学校部部長 福島愛次郎
- 高専学校部部長 成田喜澄
- 大学高専部部長 吉村利愼
- 特殊学校部部長 今村治
- 私立学校部部長 長谷川彌平
- 事務職員部部長 目野廣次

日教組組織図



全官勞
全國官公廳勞働組合

日教組
日本教職員組合
四六六、七九四

- 日教組九州地区協議会 七〇、六〇〇
  - 福岡縣教職員組合
  - 佐賀縣教職員組合
  - 長崎縣教職員組合
  - 大分縣教職員組合
  - 熊本縣教職員組合
  - 宮崎縣教職員組合
  - 鹿兒島縣教職員組合
- 日教組四國地区協議会 二九、二七四
  - 香川縣教職員組合
  - 德島縣教職員組合
  - 愛媛縣教員組合
  - 高知縣教員組合
- 日教組中國地区協議会 四三、〇五〇
  - 鳥取縣教職員組合
  - 岡山縣教員組合
  - 島根縣教職員組合
  - 廣島縣教職員組合
  - 山口縣教職員組合
- 日教組近畿地区協議会 六〇、一四〇
  - 滋賀縣教職員組合
  - 京都府教職員組合連合
  - 奈良縣教職員組合
  - 和歌山縣教職員組合
  - 大阪教職員組合
  - 兵庫縣教職員組合
- 日教組東海地区協議会 四六、三四〇
  - 靜岡縣教職員組合
  - 愛知縣教員組合
  - 岐阜縣教職員組合連合会
  - 三重縣教職員組合
- 日教組北信地区協議会 四九、三五〇
  - 新潟縣教職員組合
  - 長野縣教職員組合
  - 富山縣教職員組合
  - 石川縣教職員組合
  - 福井縣教職員組合
- 日教組東北地区協議会 五五、一三〇
  - 青森縣教職員組合
  - 秋田縣教職員組合
  - 岩手縣教員組合
  - 山形縣教育労働組合連合会
  - 宮城縣教員組合
  - 福島縣教員組合
- 日教組関東地区協議会 九四、四一〇
  - 栃木縣教職員組合
  - 茨城縣教職員組合
  - 全群馬教職員組合
  - 埼玉縣教職員組合
  - 千葉縣教職員組合連合
  - 神奈川縣教職員組合
  - 山梨縣教職員組合
  - 東京都教職員組合連合
- 日教組北海道地区協議会 一八、五〇〇
  - 北海道教職員組合

日教組發展一覧表

全日本教員組合（全教）
設立一九四五年十二月一日

日本教育労働組合（日教労）
一九四六年六月二六日（産別傘下）

全日本教員組合協議会（全教協）
一九四六年十二月二八日

文部大臣と労働協約締結
一九四七年三月八日

全教協、教全連と文部大臣との間に締結した労働協約はその適用の範囲と効力の点において、全教協、教全連、大学高専各組合の合同する日本教職員組合（仮称）が條件を付して、その権利および義務の一切を継承する旨の覚書を文部大臣と全教協、教全連との間にとりかわした。
一九四七年六月五日

日本教職員組合（日教組）
一九四七年六月八日

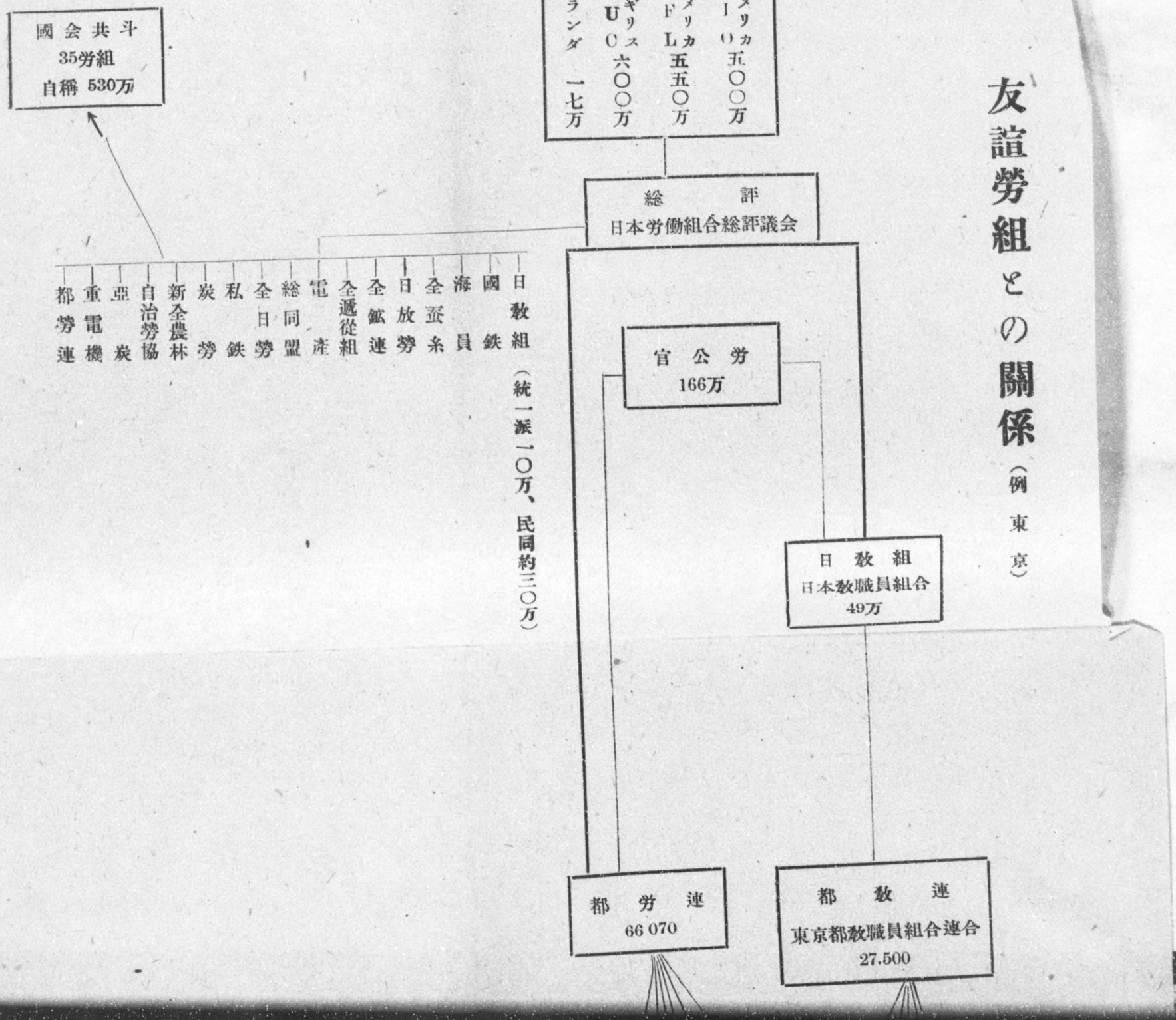
文部大臣と労働協約締結
一九四七年三月五日

大学高専教職員組合

日本教育者組合（日教）
設立一九四五年十二月二日

教員組合全國聯盟（教全連）
一九四六年六月二〇日

友誼労組との關係（例 東京）



49万

都　労　連
66 070

都　教　連
東京都教職員組合連合
27.500

東交　八、五〇〇

都職労　東京都職員労働組合　三〇、〇〇〇

水従　東京都水道従業員組合　二、一〇〇

大学教組　東京地区大学教職員組合　二、〇〇〇
都立大学教職員組合　二七〇

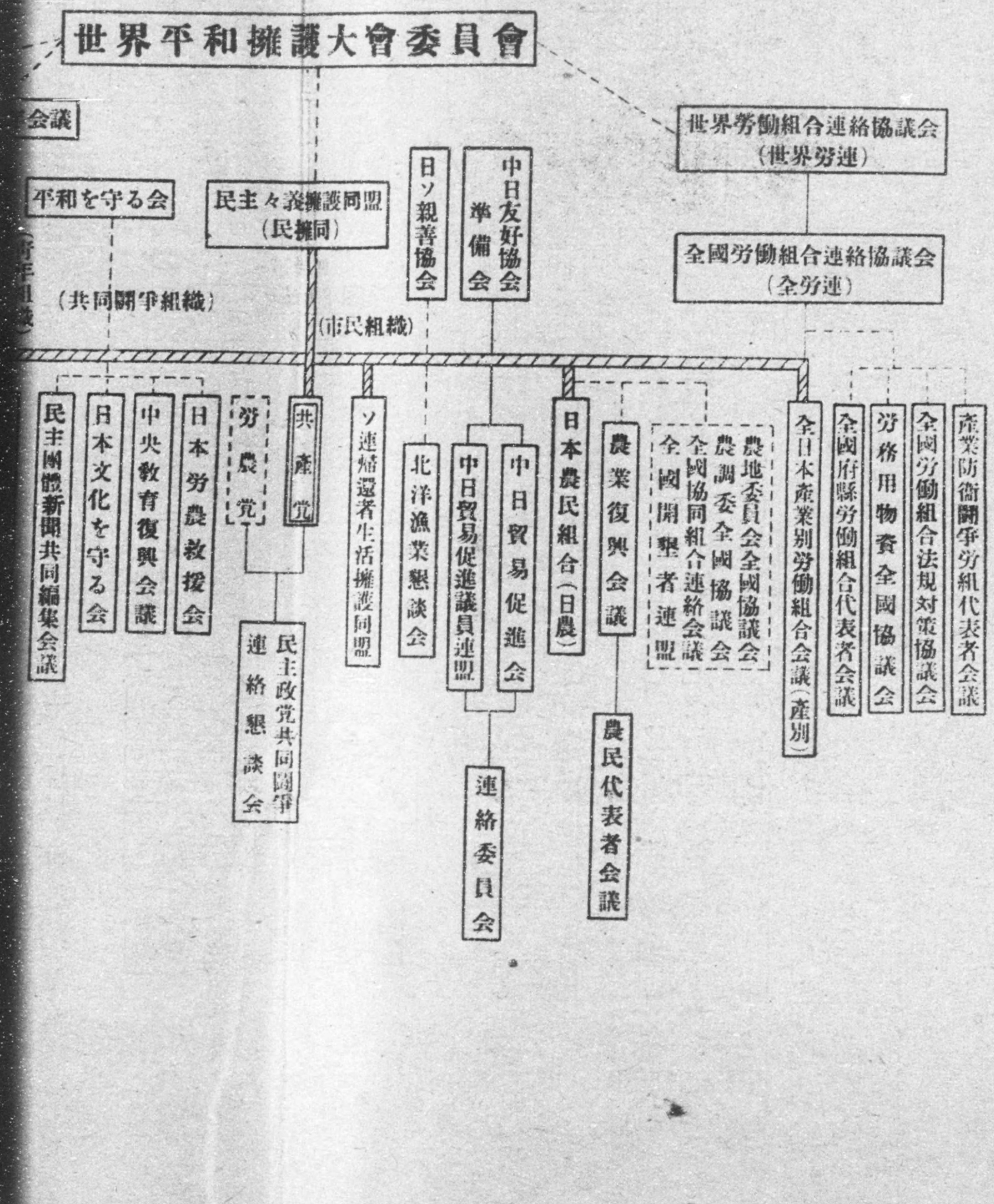
都教教　東京都教職員組合(小中幼)　二一、〇〇〇

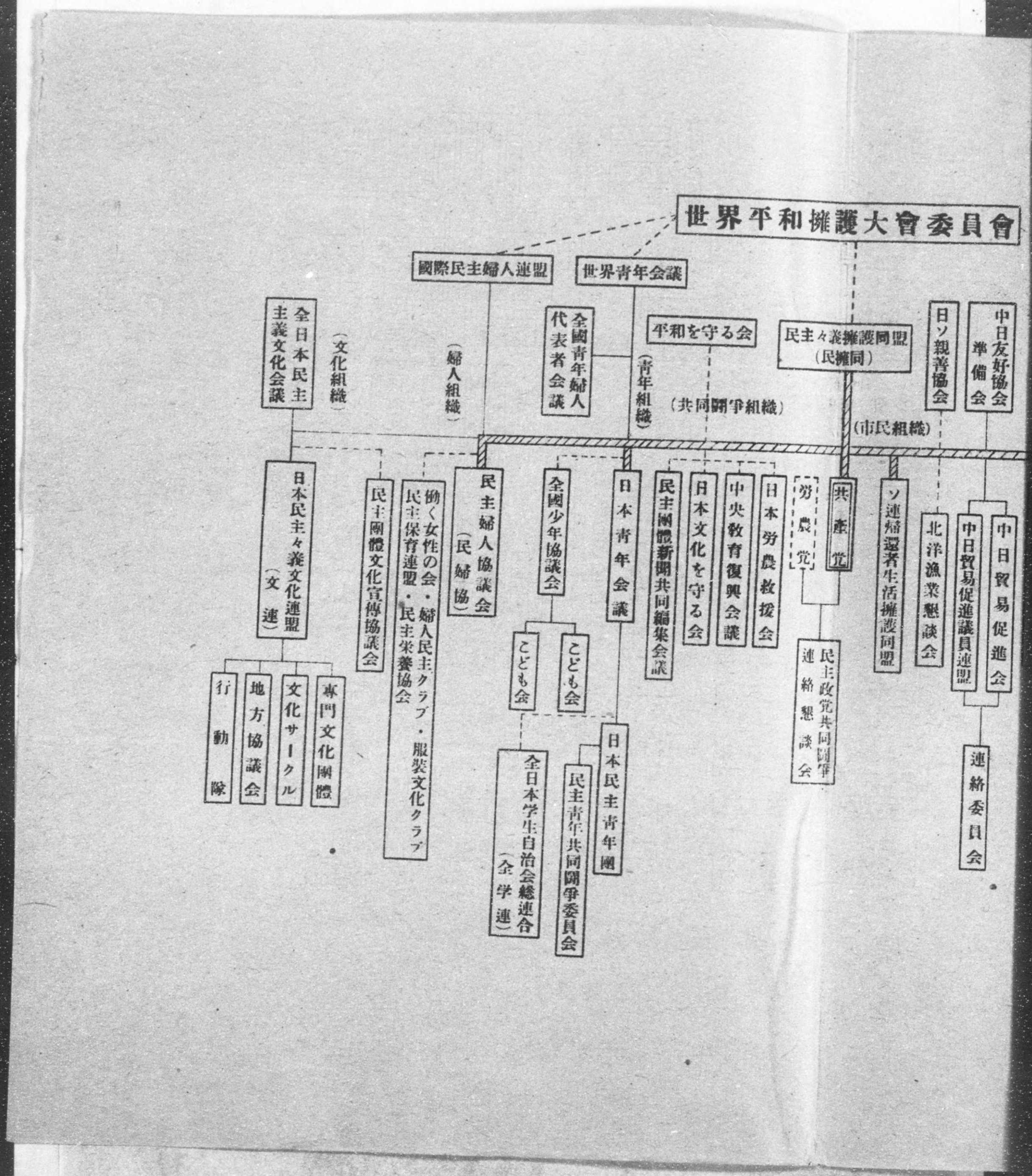
都高教　東京都高校職員組合　四、二〇〇

特殊教組　東京都特殊学校教職員組合　二〇六

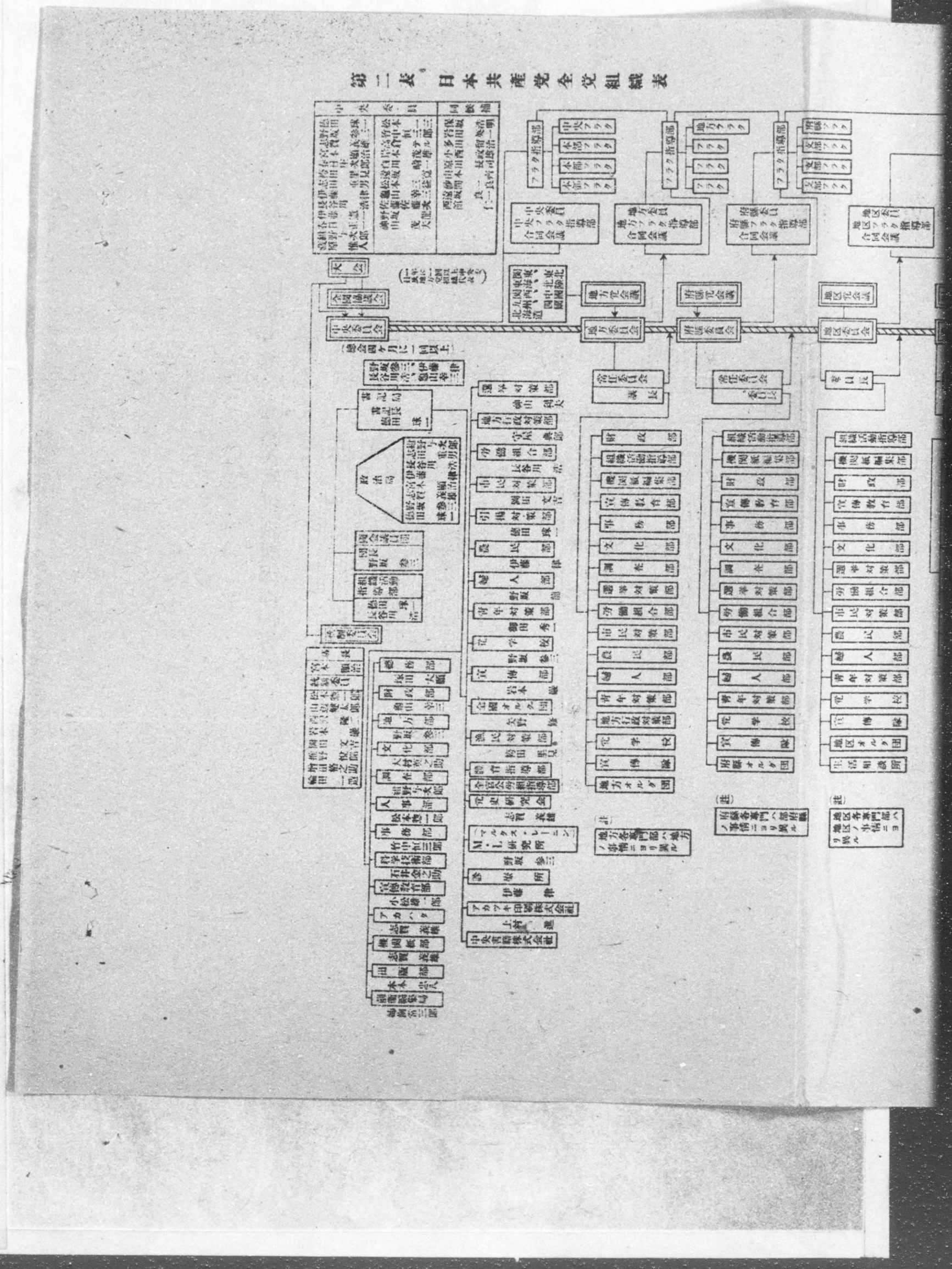
私教組　東京都私立学校教職員組合　一〇〇

第一表　日本共産党関係各種組織團体一覧表

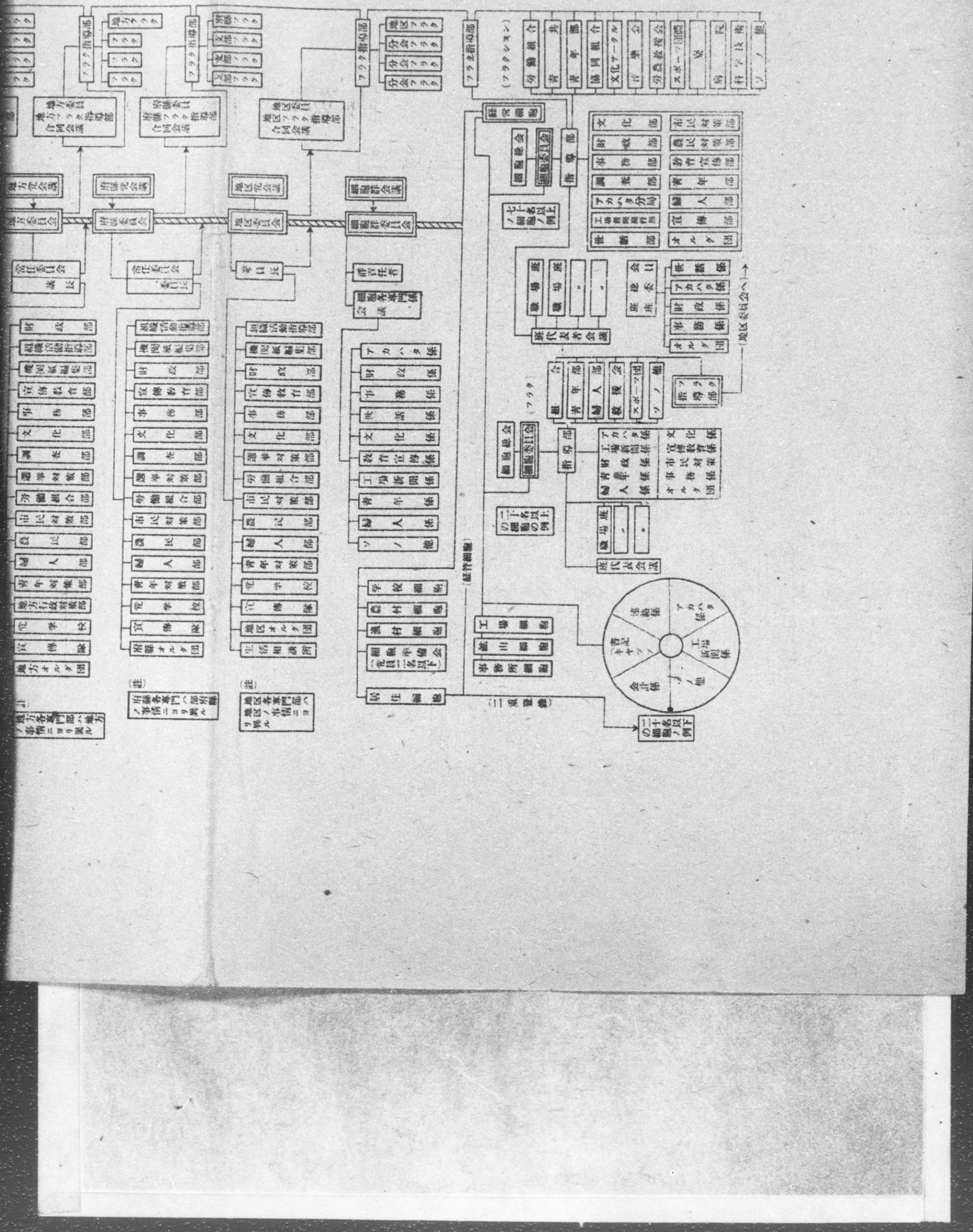



世界平和擁護大會委員會
國際民主婦人連盟
世界青年会議
全國青年婦人代表者会議
平和を守る会
民主々義擁護同盟（民擁同）
日ソ親善協会
中日友好協会準備会
（婦人組織）
（青年組織）
（共同闘争組織）
（市民組織）
全日本民主主義文化会議
（文化組織）
日本民主々義文化連盟（文連）
民主婦人協議会（民婦協）
民主團體文化宣傳協議會
働く女性の会・婦人民主クラブ・民主保育連盟・民主栄養協会
全國少年協議会
こども会
こども会
日本青年会議
民主團體新聞共同編集会議
日本文化を守る会
中央教育復興会議
日本労農救援会
労農党
共産党
ソ連帰還者生活擁護同盟
北洋漁業懇談会
中日貿易促進会
中日貿易促進議員連盟
民主政党共同闘争連絡懇談会
連絡委員会
日本民主青年團
民主青年共同闘争委員会
全日本学生自治会總連合（全学連）
専門文化團體
文化サークル
地方協議会
行動隊

第二表　日本共産党全党組織表



組織表


地方委員会
府縣委員会
地区委員会
細胞群委員会
常任委員会
委員長
書記長
細胞総会
細胞委員会
指導部
フラク指導部
地方党会議
府縣党会議
地区党会議
細胞群会議
地方フラク会同会議指導部
府縣フラク会同会議指導部
地区フラク会同会議指導部
地方フラク指導部
府縣フラク指導部
地区フラク指導部
常任細胞
ノ七十名以上ノ細胞
ノ二十細胞ノ例上
細胞群常任委員会
細胞群常任委員会
細胞群委員会
細胞群委員会
細胞群

第三表　日本共産党中央組織表

- 書記局
  - 書記局員　徳田球一
  - 〃　野坂参三
  - 〃　伊藤律
  - 〃　長谷川浩
  - 〃　亀山幸三
  - 〃　春日庄一
  - 〃　春日庄次郎
  - 書記局協力者　袴田里見
  - 〃　竹中恒三郎
  - 〃　松本三益
  - 〃　柏木悦郎
  - 〃　梶田茂穂
  - 書記局書記　伊藤康子
  - 総務部　塚田大願
  - 財政部　亀山幸三
  - 人事部　松本惣一郎
    - 竹中恒三郎
    - 菱井貞治
    - 市吉久三衛
    - 中央関係事務
    - 地方関係事務
  - 事務部　竹中恒三郎
    - 梶田茂穂
    - 野本正治
    - 澁谷安代
    - 田中松次郎
    - 宮島義男
    - 増山太助
    - 各専門部関係事務
    - 大衆團体渉外事務
    - 文書信認状取扱事務
    - 漁民海上区関係事務
    - 貿易文化関係事務
    - 全國オルグ
    - 御田秀一
    - 箱崎満壽男
    - 片山実
    - 中川清
    - 長谷川美代子
    - 青年婦人関係
    - 〃（関西、東海）
    - 〃（東北、中國、北陸）
    - 〃（北海道関係）
    - 〃（四國）
  - 地方部　野坂参三
  - 地方行政対策部　守屋典郎
  - 調査部　紺野与次郎
  - 科学技術部　石井金之助
  - 宣傳教育部　小松雄一郎
    - 小林一之
    - 一村秀夫
    - 岡本正
    - 「党活動指針」編集
    - 庶務
    - 教育（幹部教育）
    - 鈴木東民
    - 赤杉キクエ
    - 内野竹千代
    - 現在岩手
    - 庶務一般
    - 民擁同
  - 選挙対策部　神山利夫
  - 出版編集部　本本忠八
    - 志賀重義
    - 片山サトン
    - 牧瀬恒二
    - 岡部実
    - 單行パンフレット
    - 「新しい世界」編集部長
    - 「新しい世界」部員
    - 〃
    - 鈴木壽雄
    - 「新しい世界」部員
  - 機関紙部　志賀義雄
    - 山主俊夫
    - 伊藤泰方
    - 日部道時
    - 地方政治新聞の全國的指導
    - アカハタ編集中央機関紙部員
    - 國会派遣記者、休会中右の補佐
    - 事務全般
  - アカハタ
    - 志賀義雄
    - 編集局長　高橋勝三
    - 経営局長　井上盛雄
  - 前衛編集局
    - 姉歯三郎、坂本連太、野中卓、館野洋子、山田恭子
  - 労働組合部　長谷川浩
    - 山名正実
    - 斎藤四郎
    - 田中脩次郎
    - 紅谷芳松
    - 國鉄金属関係
    - 炭労、全鉱関係
    - 私鉄、化学関係
    - 日教組、日映演関係
    - 西谷和子
    - 山口正直
    - 富山次男
    - 高橋澁子
    - 渡辺四郎
    - 全逓関係
    - 國会秘書団
  - 全官公労組指導部
    - 松本三益
    - 全般統治

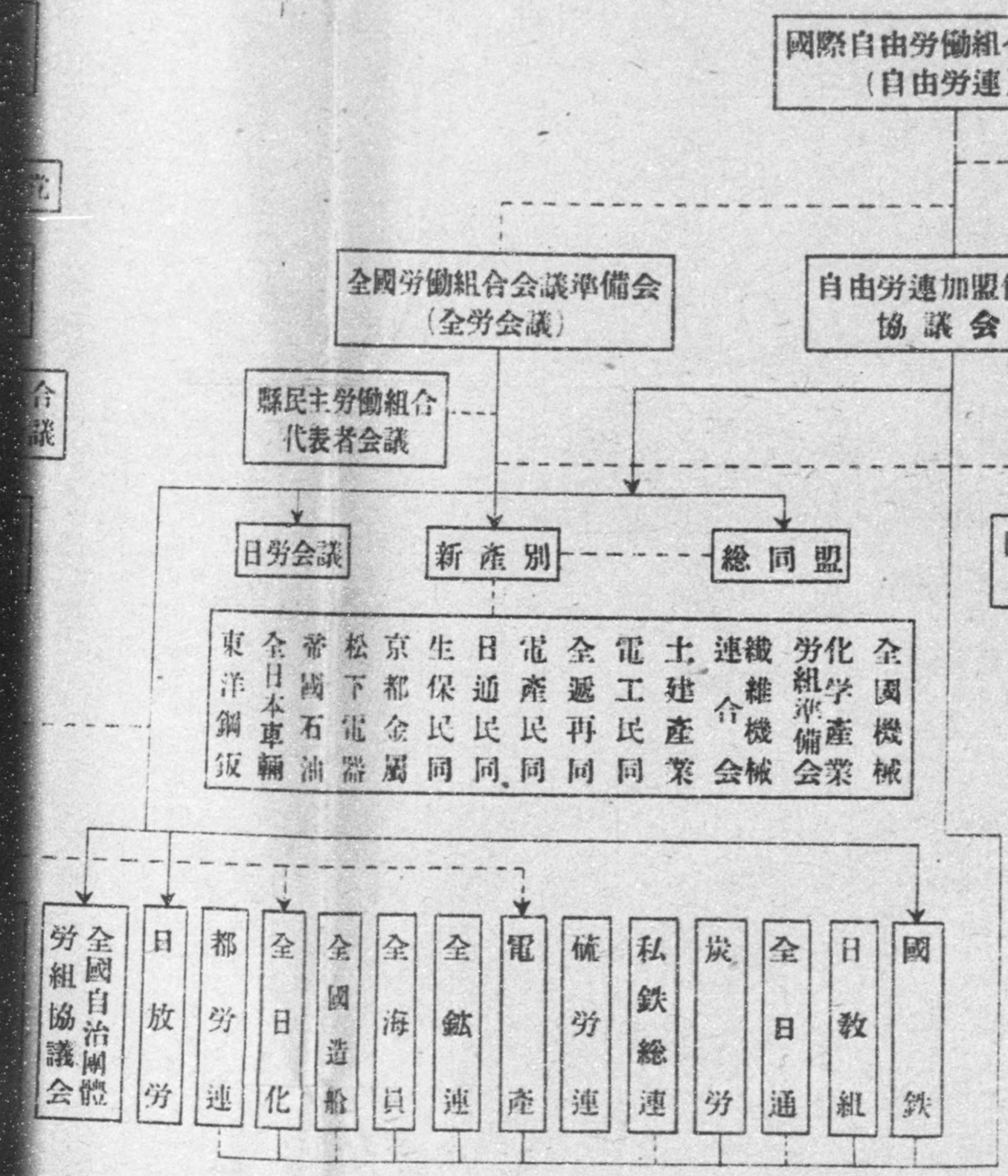
書記局

○党本部設置の各種委員会

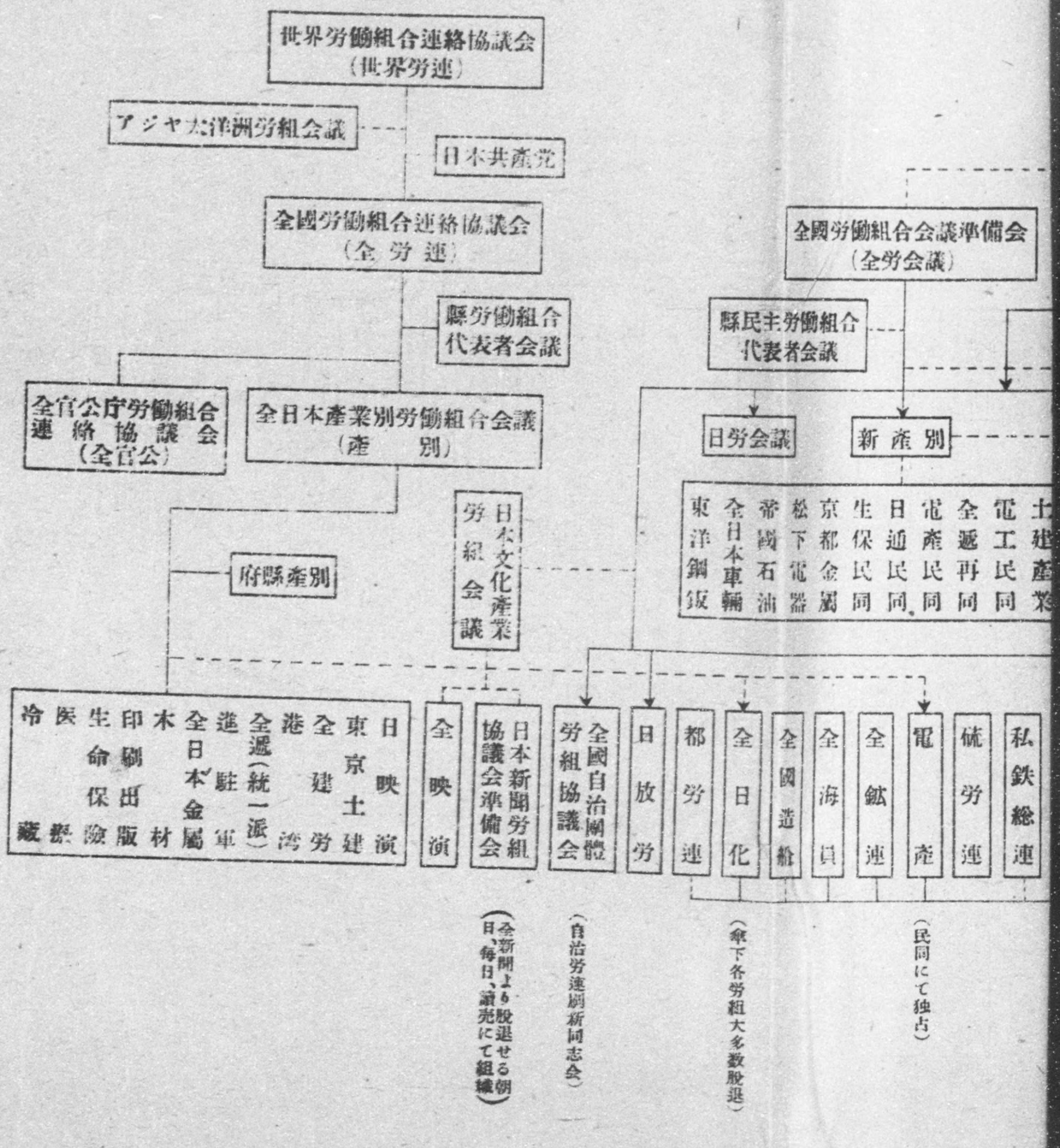
水曜会	
警察民主化委員会	
反共対策委員会	
宣伝会議	
機密漏洩対策委員会	
経済闘争対策委員会	

- 中國人部
- 全國オルグ部
  - 矢野修
    - 北海道 中村丈夫 吉田四郎
    - 四國 塚田大願 永山國昭
- 體育指導部
- 文化部 大村英之助
- 婦人部 野坂徳
  - 松崎梢子、鹽谷アイ、諸橋孝子
- 青年対策部 御田秀一
  - 青団 小池孝 小熊功
    - 青年会議、不学連対策其の他 山田昭
- 引揚対策部 徳田球一
- 市民対策部 岡田文吉
  - 税金、中小企業対策 久留美蔵
  - 貿易対策 平瀬彰男 横山眞
  - 戦災、諸補償、住宅対策 藤谷定助 佐藤、誠盛 北村彌
- 漁民対策部 袴田里見
  - 海員港湾漁村 田中松次郎 松田茂人
  - 漁民対策 矢吹重義 入江光太郎
    - 漁民対策 松本三益
    - 國会漁対 佐藤彦七
    - 農業 由崎春成
    - 農業 山崎春成
    - 農業 正木邦夫
- 農民部 伊藤律
  - 全教統制 松本三益
  - 借出税金、農協等の政策立案、農業團体グループ、農業部会 佐藤彦七
  - 山林土地開業技術、金融の対策立案調査部、農業部会 由崎春成
  - 農民部一般庶務、資料蒐集部会 正木邦夫
- 全官公労組指導部
- 労働組合部 長谷川浩
  - 國鉄金融関係 由名正実
  - 炭労、全鉱関係 齋藤四郎
  - 私鉄、化学関係 田中修次郎
  - 日教組、日映演関係 紺谷芳松
  - 全逓関係 西谷和子
  - 全逓関係 由口正直
  - 國会秘書団 富山次男
  - 國会秘書団 高橋澄子
  - 國会秘書団 渡辺四郎
- 前衛編集局 舘岡三郎、坂本連太、野中卓、鄭野洋子、山田恭子
- アカハタ
  - 編集局長 高橋勝三
  - 経営局長 井上盛雄
- 機関紙部 志賀義雄
  - 志賀義雄
  - 由宇俊夫 伊藤泰方 日部道時
    - 地方政治新聞の全國的指導 アカハタ編集中央機関紙部員 國会渡遣記者、休会中右の補佐事務 数名
  - 志賀義雄 片山サトン 牧瀬恒二 岡部実
    - 銀行パンフレット 「新しい世界」編集部員 「新しい世界」一部員
    - 〃
  - 鈴木壽雄 「新しい世界」部員
- 出版編集部 末本忠八
  - 志賀重義 片山サトン 牧瀬恒二 岡部実
  - 鈴木東民 現在岩手 赤杉キクエ 鹿務一般 内野竹千代 民練同
- 選挙対策部 神山利夫
- 宣傳教育部 小松雄一郎
  - 「党活動指針」編集 小林一之
  - 庶務 一村秀夫
  - 教育（幹部教育） 岡本正

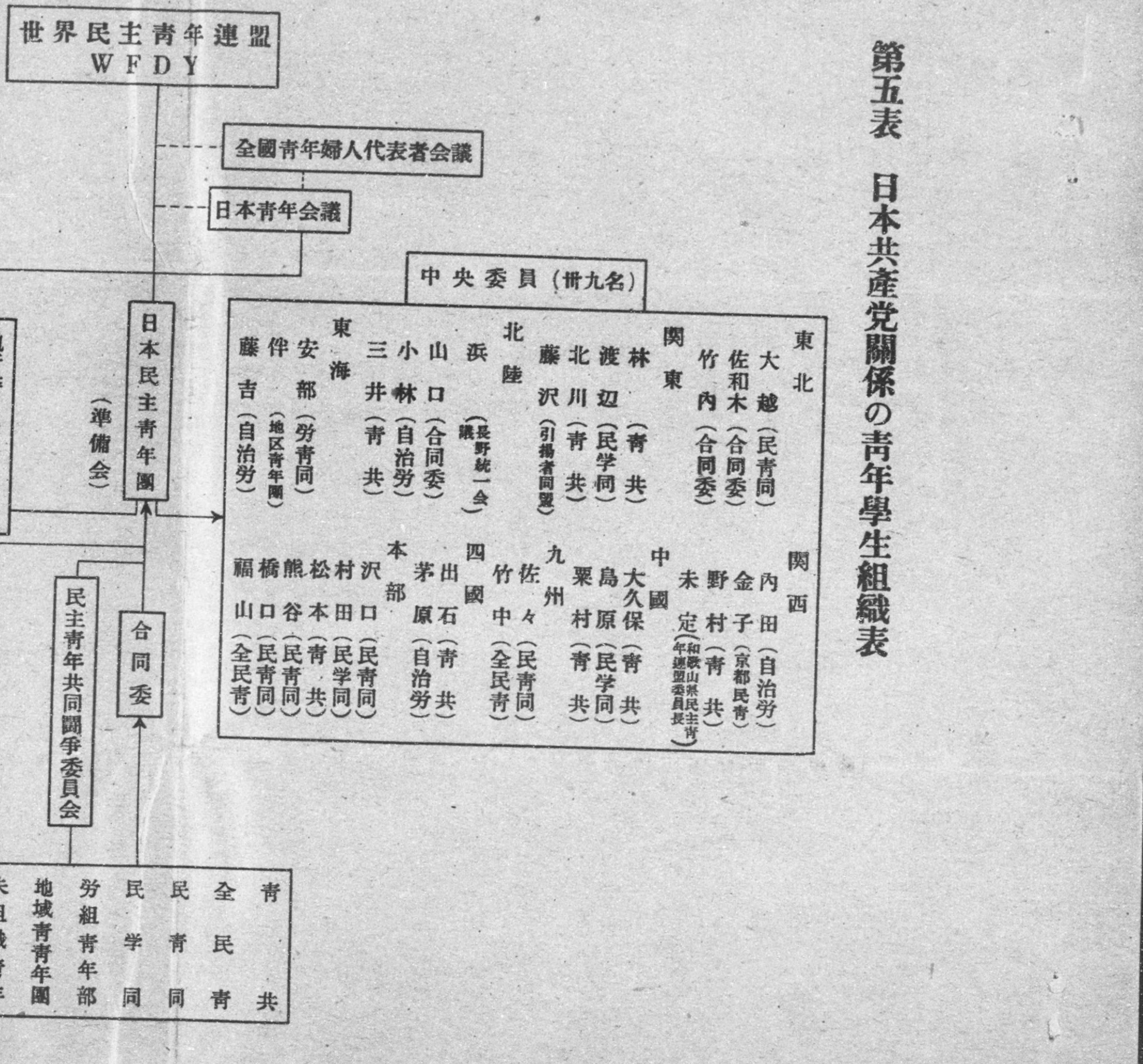
第四表　労働戦線現勢組織表

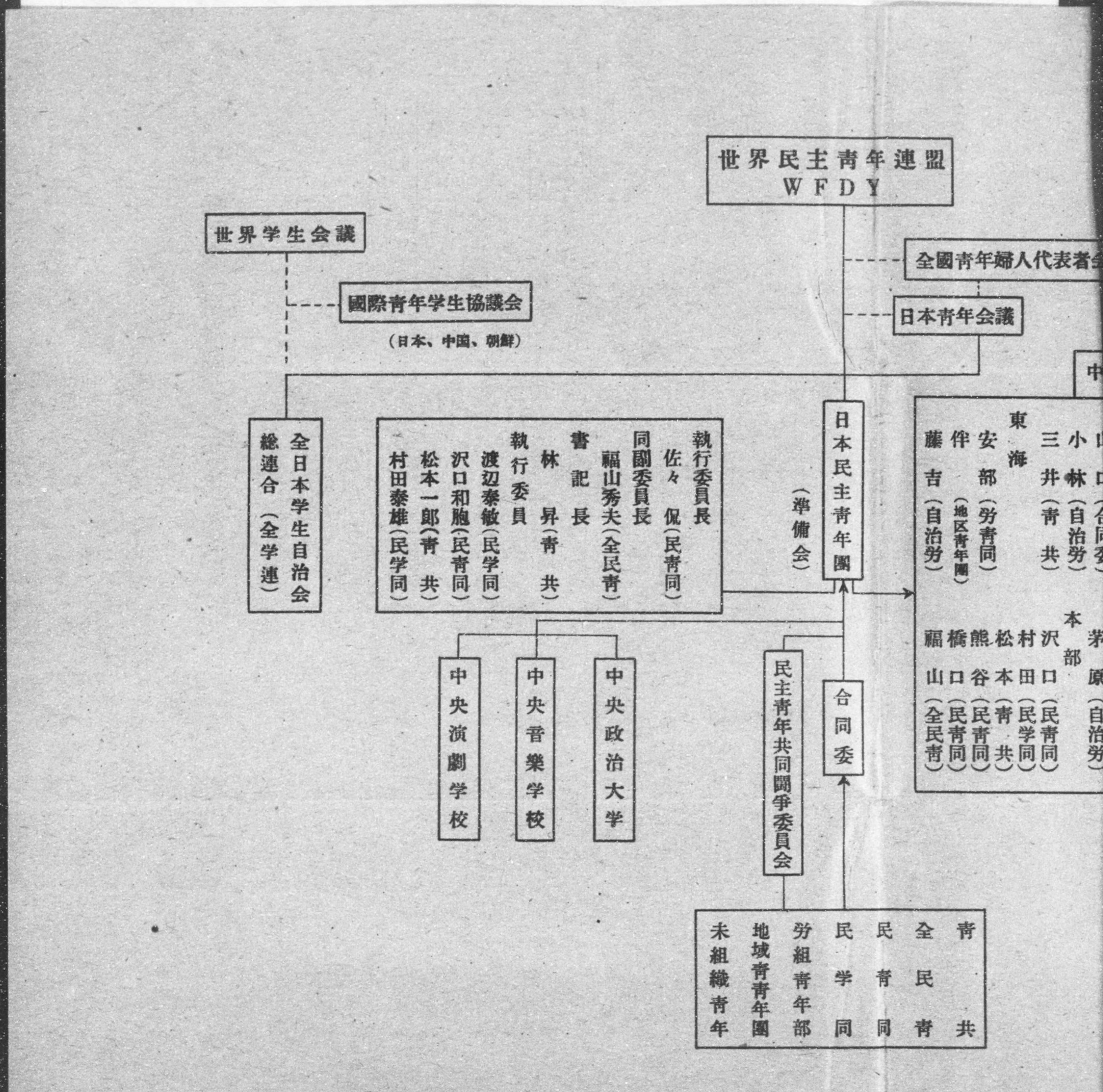


（註）新産別加盟團体中、電産、日通は確定的なものではない

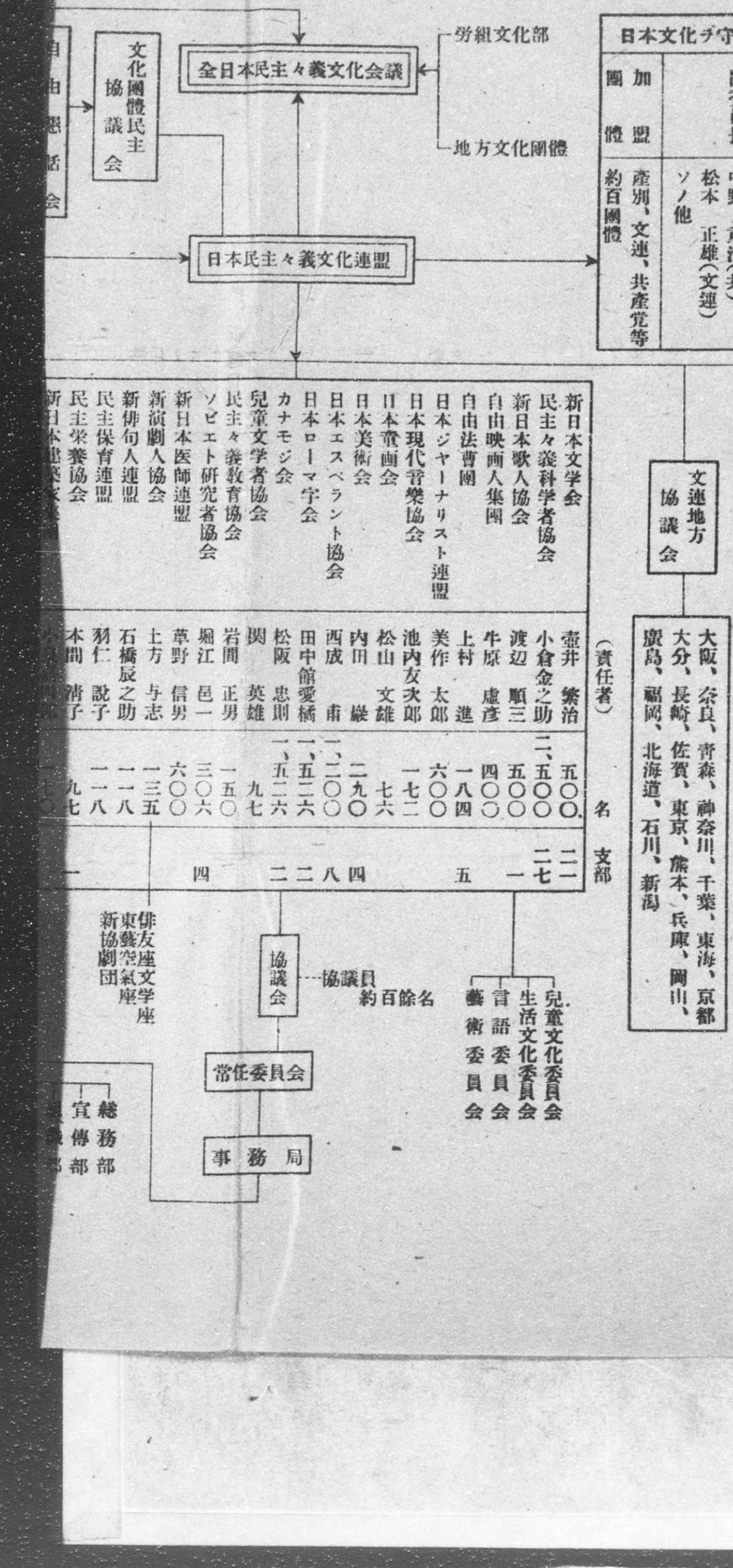

世界労働組合連絡協議会
（世界労連）
アジヤ太洋洲労組会議
日本共産党
全國労働組合連絡協議会
（全労連）
縣労働組合代表者会議
全官公庁労働組合連絡協議会
（全官公）
全日本産業別労働組合会議
（産別）
府縣産別
日本文化産業労組会議
全國労働組合会議準備会
（全労会議）
縣民主労働組合代表者会議
日労会議
新産別
土建産業
電工民同
全遞再同
電産民同
日通民同
生保民同
京都金属
松下電器
帝國石油
全日本車輛
東洋鋼鈑
私鉄総連
硫労連
電産
全鉱連
全海員
全國造船
全日化
都労連
日放労
全國自治團體労組協議会
日本新聞労組協議会準備会
全映演
日映演
東京土建
全建労
港湾
全遞（統一派）
進駐軍
全日本金属
木材
印刷出版
生命保険
医療
冷蔵
（民同にて独占）
（傘下各労組大多数脱退）
（自治労連刷新同志会）
（全新聞より脱退せる朝日、毎日、讀売にて組織）

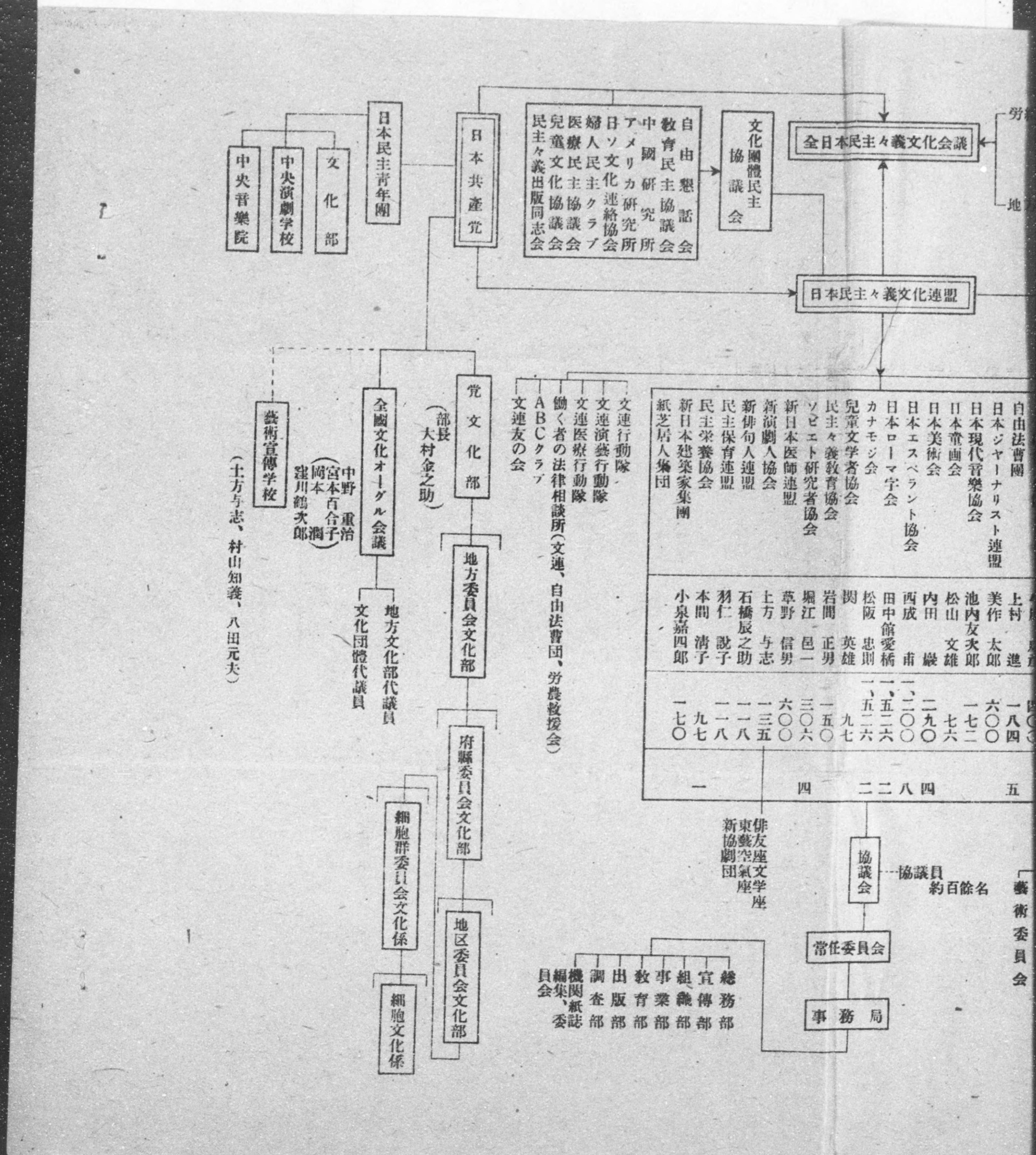
第五表　日本共産党關係の青年學生組織表




世界民主青年連盟
WFDY
世界学生会議
國際青年学生協議会
（日本、中国、朝鮮）
全國青年婦人代表者会
日本青年会議
中
山口（合同委）
小林（自治労）
三井（青共）
東海
安部（労青同）
伴（地区青年團）
藤吉（自治労）
本部
茅原（自治労）
沢口（民青同）
村田（民学同）
松本（青共）
熊谷（民青同）
橋口（民青同）
福山（全民青）
全日本学生自治会
総連合（全学連）
執行委員長
佐々 侃（民青同）
同副委員長
福山秀夫（全民青）
書記長
林 昇（青共）
執行委員
渡辺泰敏（民学同）
沢口和胞（民青同）
松本一郎（青共）
村田泰雄（民学同）
日本民主青年團
（準備会）
中央演劇学校
中央音楽学校
中央政治大学
民主青年共同闘争委員会
合同委
青
全民青
民青同
民学同
労組青年部
地域青年團
未組織青年

第六表　日本共産党關係の文化組織





日本民主青年團
文化部
中央演劇学校
中央音樂院
日本共産党
自由懇話会
教育民主協議会
中國研究所
アメリカ研究所
日ソ文化連絡協会
婦人民主クラブ
医療民主協議会
兒童文化協議会
民主々義出版同志会
文化團體民主協議会
全日本民主々義文化会議
日本民主々義文化連盟
文連行動隊
文連演藝行動隊
文連医療行動隊
働く者の法律相談所（文連、自由法曹団、労農救援会）
ABCクラブ
文連友の会
党文化部
（部長 大村金之助）
全國文化オーグル会議
中野重治
宮本百合子
岡本潤
窪川鶴次郎
地方文化部代議員
文化団體代議員
藝術宣傳学校
（土方与志、村山知義、八田元夫）
地方委員会文化部
府縣委員会文化部
細胞群委員会文化係
細胞文化係
地区委員会文化部
自由法曹團
日本ジャーナリスト連盟
日本現代音樂協会
日本童画会
日本美術会
日本エスペラント協会
日本ローマ字会
カナモジ会
兒童文学者協会
民主々義教育協会
ソビエト研究者協会
新日本医師連盟
新演劇人協会
新俳句人連盟
民主保育連盟
民主栄養協会
新日本建築家集團
紙芝居人集団
上村進
美作太郎
池内友次郎
松山文雄
内田巌
西成甫
田中館愛橘
松阪忠則
関英雄
岩間正男
堀江邑一
草野信男
土方与志
石橋辰之助
羽仁説子
本間清子
小泉嘉四郎
一八四
六〇〇
一七二
七六
二九〇
一、二〇〇
一、五二六
一、五二六
九七
一五〇
三〇六
六〇〇
一三五
一一八
一一八
九七
一七〇
五
四
八
二
二
四
一
俳友座文学座
東藝空氣座
新協劇団
協議会
協議員約百餘名
常任委員会
事務局
総務部
宣傳部
組織部
事業部
教育部
出版部
調査部
機関紙誌編集、委員会
藝術委員会

第七表　機關紙一覽表

一　日本共産党機関紙誌

中央機関紙誌

	紙誌名	主筆又は主幹
機関紙(日刊)	アカハタ	志賀義雄
アカハタ	ウイクリー	原田龍雄
ウイクリー	なかよし新聞	原田龍雄
なかよし新聞	前衛	宮本顯治
前衛	科学と技術	伊藤律
大衆クラブ		紺野與次郎
	調査時報	風早八十二
	新しい世界	細川嘉六

地方委員会機関紙

紙名	地方委員会名
関東週報	関東地方委員会
トラクター	北海道地方委員会
あかつき	関西地方委員会
中國戰線	中國地方委員会
北信戰線	北陸地方委員会
けんせつ	九州地方委員会

〔註〕其の他、府縣委員会、地区委員会でも夫々機関紙を出して居り、更に各細胞でも機関紙を出してその数は莫大なものになる。

二　日本共産党関係団体機関紙誌

団體名	紙誌名
日本民主青年団	機関紙(週刊)　民主青年
	機関誌(月刊)　われらの仲間
全日本産業別労働組合会議	機関紙(三日刊)　労働戰線
	調査資料
日本民主々義文化連盟	週刊(機関紙)　文化タイムズ
	文化革命
日本共産青年同盟	機関紙(週刊)　前進
	機関誌(月刊)　青年の旗
日本婦人民主クラブ	機関紙(月刊)　婦人民主新聞
	婦人の旗
日本平和委員会	平和新聞
	平和
日本民主法律家協会	法律時報
	法律戰線
日本民主主義青年同盟	機関紙(週刊)　青年前衛
	機関誌(月刊)　青年の仲間
全日本学生自治会総連合	機関紙(週刊)　全学連
	学生評論
日本学生同盟	機関紙(週刊)　学生新聞
	学生の旗
日本民主青年団	機関紙(週刊)　民主青年
	機関誌(月刊)　われらの仲間
全日本産業別労働組合会議	機関紙(三日刊)　労働戰線
	調査資料
日本民主々義文化連盟	週刊(機関紙)　文化タイムズ
	文化革命

団體名	紙誌名
日本児童文学者協会	日本児童文学
	新世界
	新世界

	紙誌名
幼稚園、小学校一、二年用	こどものはた
小学校三、四年用	子どもの村
小学校五、六年用	子供の廣場

三　共産主義関係出版社

人民社
世界評論社
ナウカ社
伊藤書店
ソヴエト文化社
解放社
彰考書院
靫ケ関書房
三笠書房

は莫大なものになる。

二 日本共産党関係団體機関紙誌

団體名	紙誌名
日本民主青年団	機関紙(週刊) 民主青年
	機関誌(月刊) われらの仲間
全日本産業別労働組合会議	機関紙(三日刊) 労働戦線
	調査資料
日本民主々義文化連盟	週刊(機関紙) 文化タイムズ
	文化革命
	民衆の友
	働く婦人
新日本文学会	文学新聞
	新日本文学
民主々義科学者協会	われらの科学
	民主々義科学
	社会科学
	理論
	歴史評論
新日本歌人協会	人民短歌
新俳句人連盟	俳句人
自由映画人集団	映画製作
日本美術会	美術運動
ソビエト研究者協会	ソビエト文化
新演劇人協会	テアトロ

団體名	紙誌名
兒童文学者協会	日本兒童文学
新世界社	幼稚園、小学校 一、二年用 こどものはた
	小学校 三、四年用 子どもの村
	小学校 五、六年用 子供の廣揚
世界画報社	ひろば
	漫画雑誌 くまんばち
農民の友社	農民の友
人民社	人民
	眞相
ナウカ社	社会評論
伊藤書店	人民評論
霞ケ関書房	自由評論
文化評論社	文化評論
民主評論社	民主評論
世界評論社	世界評論
ユマニテ社	私の大学
労農運動救援会	救援新聞
人民戦線社	人民戦線

三 共産主義関係出版社

人民社
世界評論社
ナウカ社
伊藤書店
ソヴエト文化社
解放社
彰考書院
霞ケ関書房
三笠書房
労農通信社

三、規約草案　第四回全國協議會採擇

◎ここに掲げる規約草案は、附則にも明記されているように第四回全國協議會で採択され、直に全党に適用されるものである。なお次の第七回大會で承認をうけることになっている。

総則

第一章　党の基本性格

第一條　日本共産党は、日本労働者階級の前衛党であり、その最高の階級的組織である。

第二條　日本共産党は日本労働者階級の利益を代表すると共に、日本民族と全人民の利益を代表する。党は、當面、プロレタリアートの指導の下に、労農同盟を基礎とし、帝國主義の日本侵略による民族的支配と搾取、および、日本を基地とするアジア侵略戰爭、世界戰爭政策に反対して、全人民を動員し、帝國主義勢力を一掃して、民族解放革命をなしとげ、帝國主義の手先である、日本國内の反動勢力を全人民から孤立させ、これを打倒し、人民民主権力を樹立して、半封建的勢力と、独占資本の支配・搾取を一掃し、人民々主主義革命を実現する。党は、民族解放革命、人民民主主義革命をなしとげて、人民々主権力を、樹立し、これを強め、プロレタリアート

独裁によって、社会主義社会を建設し、それを通じて、共産主義社会の出現を終局の目標とする。

第二條　党は、マルクス・レーニン・スターリンの理論を行動の指針として、日本の歴史と現実に適用し、日本の革命運動を実践的に統一して、押し進める。党は、プロレタリア国際主義に基き、国際プロレタリアートと日本プロレタリアートの兄弟的な団結と諸民族の友好・協同の上に立つ。

第四條　党は革命達成のために、党と人民の革命的団結をかためて、斗争する。党は、このために鉄の規律によって、一つの組織に団結し、民主主義的中央集権制によって、党の意志と行動を統一する。全党員は、革命および全党の利益に従い、全党は中央に従い、少数は多数に従い、下級は上級に従う。党は一切の分派を認めず、ブルジョア自由主義やブルジョア形式主義に反対し、革命運動の情勢によって、弾力性あるプロレタリア民主主義的中央集権制をつらぬく。

各論

第二章　党員および党員の義務と権利

第五條　党の綱領を認め、党費を規則的に收め、党の一定の組織に入って、活動するものを党員とする。

第六條　党員候補は入党希望者と、三ヶ月以上一緒に活動した、党員二名以上の推薦を必要とする。審査は原則として細胞で行い、上級機関の承認によって決定する。労働者以外は少くとも一ヶ月以上の候補期間を必要とし、實践を通じて正式党員とする。

第七條　党員の義務は次の通りである。

(一)党員は人民解放のために、大衆に仕え、大衆から学び常に大衆の要求をつかみ、党の政策を人民大衆に宣伝理解させ、大衆との結びつきを強めて党を固めなければならない。

(二)党員は革命意識と思想を高めて活動するために、たえず、マルクス、レーニン、スターリン主義の学習を行い、常にこれを日本及び自己の環境に適用する。

(三)党員は厳格に党規約に従って、党の規律を守り、個人生活をも党に従属させ、党の政

業と党機関の決定を実行し、党内外で、党の利益を傷ける者と斗わねばならない。

(四)党員は革命のために必要な秘密を、身をもって守る義務がある。

(五)党員は革命運動のために敵に逮捕された時は、人民と共産主義の勝利のために斗わなければならない。いかなる場合にも敵に屈服せず、党の組織について口外もせず、党組織を守りぬかねばならない。

第八條　党員の権利は次の通りである。

(一)党の会議や機関紙で、党の実際的な諸問題について、自由に討論に参加できる。

(二)党内で選挙したり、選挙されたりする権利を持つ。

(三)あらゆる党の機関に対して、自分の意見をのべ、または、質問することができる。

(四)党の会議で党のいかなる活動家に対しても、批判することができる。

第三章　党の組織構成と規律

第九條　日本共産党は統一体である。党の組織と規律は民主主義的な中央集権制である。すべての党組織は指導機関と責任者をもつ。又、す

べての党員は、党の何らかの部署を与えられる。党員の部署は、党と革命の必要を第一として、党員の特徴、技能を考えて決定される。

部署の決定について、党員は自分の意見をのべる権利はあるが、党の決定には、無條件に服して、最善の努力を盡さなければならない。

3、党の指導機関は選挙された上級機関の承認を必要とする。4、党の指導機関と責任者は、それを選んだ党組織に対して、定期的にその活動を報告しなければならない。5、党員個人は組織に従い、少数は多数に従う。決定するまでは、民主的に討論し、多数をもって決定した後は、全員が決定に従って、迅速確実に実行しなければならない。6、下級は上級に従い、全党は中央に従う。7、全国的な性質の問題については、各地方党組織や責任者は、中央機関の承認なくして、意見や発表を自由になしてはならない。また地方的な性質の問題については、中央の決定に反しない限り、党の地方機関は、自主的な決定権をもつ。上級機関はその自主的な決定を正しく指導する。8、すべての党組織は、上

級の決定に反しない限り自主的に行動し、下級機関はその活動を定期的に報告する。

第十條　党の上級機関は次の通りである。

1. 全国党大会——中央委員会
2. 地方党会議——地方委員会
3. 縣党会議——縣委員會
4. 地区党会議——地区委員會
5. 細胞群党会議——細胞群委員會
6. 細胞會議——細胞委員會

第十一條　党の最重要組織は、細胞と全國的、全階級的な政治方向を決定指導する中央党機関である中央委員会は情勢に應じて、その他の党機関を整備する。

第十二條　党の全國党大会は中央委員会が召集し、各級党会議は各級委員會が召集する。

三分の一以上の党員を代表する下級組織の要求がある場合にはそれぞれ党大会、党会議を召集しなければならない。

第十三條　党の政策については、党の組織や

党の機関で、民主的な討論を自由に行い、党活動は党員と党幹部の批判と自己批判によって、高められなければならない。たゞし、この党内民主主義は革命を有利な方向に進めるためのものであって、野心家や分派や大バイの党覚乱に対しては、断固として斗わなければならない。

第十四條　各級党会議を開くことが困難な場合には、それぞれ、党協議会（代表者会議）を開いて、これにかえる。党協議会（代表者会議）は下級機関の代表によって構成される。

第十五條　民主主義的な中央集権制は情勢に応じて選挙制を採用し、上級機関からの任命制を採用することが出来るし、委員会の選挙は少数の執行部に権限を集中することができる。

第十六條　情勢に応じて中央集権が強化され有利な場合でも、各級機関は出来るだけ会議制につとめ、批判と自己批判を強めて、党活動を健全に維持するよう努力しなければならない。

第四章　基本組織

第十七條　党の基本組織は細胞である。細胞

は党員三名以上によつて組織され、その指導部をもつ。全党員は原則として何れかの細胞に所属する。

第十八條　細胞の機関は細胞会議、班会議（職場細胞、部落細胞）。班指導部である。

第十九條　細胞会議は細胞の最高機関で、條件に応じて、全員または代表者によつて、会議をもつ。細胞会議は細胞指導部を選出する。

第二十條　細胞の日常党活動は、細胞指導部の指導のもとで、班会議と細胞内の仕事の分担によつて行われる。

第二十一條　細胞内の仕事の分担は、次の通りである　組織、宣伝教育、——細胞新聞発行、財政

第五章　地区党機関

第二十二條　地区党機関（地区党会議と地区委員会）は地区党会議と地区委員会をもつ。

地区党会議は地区の最高機関であり、地区委員と細胞代表員会によつて召集され、地区委員によつて構成される。地区党会議は地区党委員会の報告をうけ、地区活動の方針を決定し、新たに地区委員を選出し、又上級党会議えの

代表を提出する。地区委員會は地区党会議の
決定および上級機関の決定を執行する
第二十三條　地区の指導を一層密にするため
に地区党機関の補助機関として、地区の情勢
により、細胞群会議・細胞群委員会を組織す
ることが出来る。これらの機関は地区党機関
の指導をうける。
第二十四條　地区委員会の仕事の分担は次の
通りである。
組織、宣伝教育、財政その他の必要な仕事。
第六章　縣党機関
第二十五條　縣党機関として県党会議・県委
員会をもつ。縣党会議は、県の最高機関であ
り、県委員会によって召集され、県委員と地
区党会議により選出された地区代表と重要細
胞代表とによって構成され、情勢に応じて開
き少なくとも、年一回開かれる。県党会議は
県委員会の活動報告をうけ、新方針を決定し、
新たに県委員を選出し、また上級党会議への
県代表を選出する。県委員会は県党会議の決
定及び上級党機関の決定を執行する。

第二十六條、県委員會の仕事の分担は次の通りである。

組織、宣伝教育、財政、その他の必要な仕事。

第七章　地方党機関

第二十七條、必要に応じて、地方党機関として、地方党会議と地方委員会をもつ。

第二十八條、地方党会議は地方の最高党機関であり、地方委員会によって召集され、地方委員と県党代表によって構成される。

第二十九條　地方委員は中央党機関の推選によって、もとおいて、選出される。

第三十條、地方委員会は中央党機関の決定を地方に具体化し、具現化することを、主な仕事とし、地方党会議の決定を実行し、各県党組織の強化をはかる。

第三十一條　地方委員會の仕事の分担は次の通りである。

組織、宣伝教育、財政その他の必要な仕事。

第八章　中央党機関。

第三十二條　中央党機関は、全國党大会、中央委員会、政治局、書記局とする。

第三十三條、全口党大会は、党の最高機関であり、中央委員会によつて、召集される。党大会は、府県の組織から選ばれた代議員および、中央委員、同候補、統制委員によつて構成される。大会に対し全党の意志が代表されるようにされなければならぬ。中央委員會は情勢に応じて代表選出の方法と比率とを決める。党大會は中央委員會の活動報告をうけ、全党の新たな総方針を決定し、中央委員、同候補を選出する。大会は党の綱領、現約を変えることができる。

第三十四條、中央委員会は大会から大会の間党を代表する最高機関で、全口党大会の決定を実行し、情勢に応じて党の政治方針、組織方針を討議決定する。中央委員会は政治局、書記局を選出し、統制委員を任命する。

(イ)政治局は、つねに政治的な活動及び党の全般的な方針を決める。

(ロ)書記局は、政治局の決定を実行し、日常党務を幹行する。

第三十五條、政治局、書記局は、情勢に応じ

て、単一の執行局とすることが出来る。

第三十六條、統制委員会は、中央委員会の指導のもとに、活動を行う。

第三十七條、統制委員會は、党の権威と、党が民族解放、人民解放のために斗う前位とその統一を保つために、次の活動を行う。

(1)大会や中央委員会の決議の遂行状態を実検する。

(2)ブルジョア思想と動揺による分派的な活動や二心的な決定違反、決定実行の違反を審査しこれを中央委員会に報告する。

(3)スパイ、非党者、野心家の党破壊活動をバクロし、これを組織から追放する活動の指導を行う。

(4)党内の道徳的な腐敗をしゆく正する。

第九章　大衆団体グループ

第三十八條、すべての大衆団体において、党員は、大衆の利益を守って積極的に活動する。その為めに、大衆団体内の党員は、グループを結成し、各級党機関の指導を受ける。グループ

はグループ指導部を選出、または、上級機関からの任命によって、これをつくる。

第三十九條　國會、および地方議會に活動する党員はグループを結成して、それぞれの党機関の指導をうける。

第十章　党財政

第四十條、党活動の資金は、党費、党えの寄附、および、党事業から入る収入である。

第四十一條　党費は、原則として、党員の収入の一パーセントである。

第十一章　規律違反に対する処分

第四十二條、党の鉄の規律を破り、党の統一ある行動をみだし、党および人民の利益に損害をあたえた党員は、処分される。特定の機関が疑いをかけた者または、組織から切り離し、審査の結果によって、除名、一時附党員権停止、機関からの罷免、活動制限、訓戒、警告などに処する。組織に対しては警告および、解散処分を行う。解散された組織の党員は、再登録されるが再登録されないものは党籍を失う。

第四十三條　わずかな過失や、悪意のないあやまりを犯した党員に対しては教育や勧告によって、再びあやまりをくり返さぬようにする。

第四十四條　除名は、細胞で慎重に審議し、上級機関の意見を聞いた後に、細胞で決定する。除名の確認は、除名された者の属する党組織の二級上級の党機関で行う。但し除名に不服のものは中央委員会まで上申することができる。

中央委員会の除名確認は、大会または、それに代る機関がこれを行う。

附則

(一)　情勢に応じて、ボリシエビキ的党原則にしたがい、この規約の精神に基いて、臨時の最高党機関を設立することが出来る。

(二)　この規約草案は、大会に準ずる今回の全国協議会の採択によって、直に全党に適用される。

(三)　この採択された規約草案は、次の第七回大会で、承認を求めなければならぬ。

四、党オルグの整備について、

レッド・パージその他により、党の基本組織は弱化の方向をたどり、加うるに國際派分派の成長によつてその速度も急速になりつゝあるに鑑み、党中央においては当面する重要な段階に即應する基本組織活動の急務なることを訴えているが、これが勝利的発展のため、去る三月二十一日本問題に関する中央グループ指導部会議を召集新らしくオルガナイザーのメンバーを決定左の如くそれぞれの部署に配置したといわれる。

一、中央オルグ（全国）

佐藤安政、　清水達夫　関鑑子
色部春雄　岡林辰雄　本堂進藏
梅田照文

二、全官公オルグ

山口寛治、　佐藤邦雄、　桑石一雄
内田某　佐々木武一

三、金属オルグ

小泉信哉　内山義己　永田憲四郎

寺田一男　秋田政雄

四、化学オルグ

神山順一　田中良吉　鈴木元三

平野英夫　高橋幸太郎

五、電工オルグ

矢津正吉　花田秀吉　宮島栄三

大原勇三　小島幸一　安田政男

六、鉄工オルグ

櫻井良一　能代邦男　津田一雄

酒井金太郎

七、せんいオルグ

坂野欣三　徳永保雄　新井恒美

宮本峯吉　他一名

八、私鉄オルグ

長谷部勲　細野豊　秋山喜一

久保木利雄　小林政治

九、地方オルグ

①北海道

宮内明　安瀬利雄　多田光夫

山田五郎　中村力

②東北

和田李平　浅野つとむ　神田六郎

落合直文　鈴木清

③関東
中西伊之助　櫻田常久　安斉庫治
高下重壽　萩原中　市村かづ元
金子繁広

④東海
山崎光雄　石橋敏夫　加賀谷一郎
河合ふさを　塚原よし子

⑤北陸
鈴木利夫　村上虎雄　一藤田進
原田敏

⑥関西
大沢三郎　岡本秀一　永川壽一
西山某　金子某　玉置博

⑦中國
伊藤かよ子　木村幸三　佐藤忠雄
野村秀雄　谷口某

⑧四國
北川啓　中田文一

⑨九州
他二名　副島まる

後藤活彦、小林かおる
佐々木昌治、前田啓太、
橋本寺五郎
▲文化、引揚者等についても目下人選中と
いわれる。
以上。

尚本会議には、
党本部より、山辺健太郎、岩田英一
指導部より、平野義太郎、岩崎昶
佐藤安政、福本和夫、津村謙二、
堀江邑一
等が出席した模様である

A-100

SPECIAL INVESTIGATION

ATTORNEY-GENERAL'S OFFICE

Fujiwara, S.I.D. First (2)(Feb. 17, 1951)(381) 395, C

May 18, 1951.

FROM: Director Mitsusada YOSHIKAWA of Special Investigation Bureau, Attoeney-General's Office.

FOR: Lt.-Col. Jack P. Napier, Government Section, G. H. Q.

SUBJECT: Status of the Registration of Officers of the Japan Communist Party made in accordance with the Provisions of the Organizations Control Order from February, 1951 up to the present.

I. We have arranged the result of our investigation as to the registration of officers of the Japan Communist Party made in accordance with the provisions of the Organizations Control Order and made out the following name-lists as shown in the ANNEXED PAPERS I and II.

The ANNEXED PAPER I shows the status of the registration of Officers of the Central Headquarters of the Communist Party, while the ANNEXED PAPER II shows that of officers of each Regional Committee of the Party.

II. None.

III. Concluded.

M. Yoshikawa

Director of Special Investigation Bureau,
Attorney-General's Office.

ANNEXED PAPER I

Status of the Registration of the
Central Headquarters Officers of
the Japan Communist Party.

(As of May 1, 1951)

Title	Name
Superintendent; Candidate Central Committee-member	岩田英一 IWATA Eiichi
Candidate Central Committee-member	西館仁 NISHIDATE Hitoshi
"	保坂浩 HOSAKA Hiroshi
"	小西政雄 KONISHI Masao
"	山本斉 YAMAMOTO Hitoshi
"	砂南一良 SUNAMA Kazuyoshi
Control Committee-member	西沢隆二 NISHIZAWA Ryuji
"	岡田文吉 OKADA Bunkichi
"	岩本巌 IWAMOTO Iwao
"	山辺健太郎 YAMABE Kentaro
"	松本惣一郎 MATSUMOTO Soichiro
Temporary Central Guidance Section member	椎野悦郎 SHIINO Etsuro ✓
"	輪田一造 WADA Ichizo ✓
"	杉本文雄 SUGIMOTO Fumio ✓
"	河田賢治 KAWATA Kenji ✓
"	鈴木市蔵 SUZUKI Ichizo ✓

ANNEXED PAPER II

Status of the Registration of Officers of
北海道 東北 関東 北陸
the Hokkaido, Tohoku, Kanto, Hokuriku,
東海 関西 中國 四國 九州
Tokai, Kansai, Chugoku, Shikoku and Kyushu

Regional Committees as of May 1, 1951.

1. 北海道
Hokkaido Regional Committee (As of May 1, 1951)

Committee-member; Superintendent	当麻憲三 TŌMA Kenzo
Committee-member	広谷俊二 HIROTANI Shunji
"	荒井英二 ARAI Eiji
"	西舘仁 NISHIDATE Hitoshi
"	小田茂勝 ODA Shigekatsu
"	佐貫徳義 SANUKI Tokuyoshi
"	阿部徹志 ABE Tetsushi
"	山崎春成 YAMAZAKI Harunari
"	佐々木和 SASAKI Kazu
"	島清志 SHIMA Kiyoshi
"	吉田四郎 YOSHIDA Shiro
"	鯰江忠雄 NAMAZUE Tadao
"	瀬戸川元信 SETOGAWA Motonobu
"	石島栄 ISHIJIMA Sakae
"	桜井英孝 SAKURAI Eiko

Candidate Committee-member	北田寛二 KITADA Kanji
"	山本俊美 YAMAMOTO Toshiyoshi
"	阿部耕作 ABE Kosaku
"	村上國治 MURAKAMI Kuniji
"	浅倉正志 ASAKURA Masashi
"	島影次郎 SHIMA Kagejiro
"	山田宗睦 YAMADA Munemutsu
"	安藤登 ANDO Noboru

2. 東北 Tohoku Regional Committee (As of May 1, 1951)

Chairman	加賀谷寿一郎 KAGAYA Kiichiro
Standing Committee-member; Organ Paper Section Chief	三羽嘉彦 MIWA Yoshihiko
Standing Committee-member	西岡慶三郎 NISHIOKA Keizaburo
Committee-member	竹内七郎 TAKEUCHI Shichiro
Secretariat Chief; Financial Section Chief; Superintendent	和田英平 WADA Yohei
Committee-member	渡部豊治 WATANABE Toyoji
"	大塚英五郎 ŌTSUKA Eigoro
"	大沢清一 ŌSAWA Kiyoichi
"	鈴木善蔵 SUZUKI Zenzo
"	鈴木義雄 SUZUKI Yoshio
"	鈴木清 SUZUKI Kiyoshi

Committee-member	長岡太刀雄 NAGAOKA Tachio
"	五味宣雄 GOMI Norio
"	小守林新助 KOMORIBAYASHI Shinsuke
"	小笠原鉄彦 OGASAWARA Tetsuhiko
"	塩崎要祐 SHIOZAKI Yosuke
Candidate Committee-member	鈴木信 SUZUKI Makoto
Candidate Committee-member and Culture Section Chief	豊島寛 TOSHIMA Hiroshi
Candidate Committee-member	小田島森良 ODAJIMA Moriyoshi

3. 関東
Kanto Regional Committee (As of May 1, 1951)

Superintendent	古川祐一 FURUKAWA Yuichi
Standing Committee-member	田子一郎 TAGO Ichiro
"	一村秀夫 ICHIMURA Hideo
"	針谷武夫 HARIYA Takeo
"	遠坂良一 TOSAKA Ryoichi
"	増田兼一 MASUDA Kanichi
"	矢野将 YANO Osamu
Regional Committee-member	市吉常弘 ICHIYOSHI Tsunehiro
"	糸川二一郎 ITOKAWA Niichiro
"	榎本兼一 ENOMOTO Kanichi
"	奥野邦比古 OKUNO Kunihiko
"	小原貴也二 OHARA Kiseji

Regional Committee-member	菊地重作 KIKUCHI Shigesaku
"	木村三郎 KIMURA Saburo
"	小林高貴夫 KOBAYASHI Tokio
"	坂内一登司 SAKAUCHI Kazutoshi
"	寺田貢 TERADA Mitsugu
"	増山大助 MASUYAMA Daisuke
"	丸山一郎 MARUYAMA Ichiro
"	安藤一茂 ANDO Kazushige
Standing Secretary	根本勝彦 NEMOTO Katsuhiko
"	徳光千代和 TOKUMITSU Chiyokazu
"	森権蔵 MORI Gonzo

4. 北陸 Hokuriku Regional Committee (As of May 1, 1951)

Regional Committee-member and Superintendent	田中策三 TANAKA Sakuzo
Regional Committee-member	小松雄一郎 KOMATSU Yuichiro
"	梅田兵一 UMEDA Heiichi
"	和田一造 WADA Ichizo
"	多田実也 TADA Minoya
"	三好勇 MIYOSHI Isamu
"	山崎稔 YAMAZAKI Minoru
"	浜春雄 HAMA Haruo
"	松島治重 MATSUSHIMA Harushige
"	関川清一 SEKIGAWA Kiyoichi

Reginal Committee-member	大沢三郎 ŌSAWA Saburo
"	階戸義雄 KAIDO Yoshio
"	岩林虎之助 IWABAYASHI Toranosuke
"	韮沢四郎 NIRASAWA Shiro
"	寺島泰治 TERAJIMA Yasuji
"	大栗孝雄 ŌKURI Takao
"	安藤義雄 ANDO Yoshio
"	石野栄作 ISHINO Eisaku
"	佐藤彦七 SATO Hikoshichi
"	坂巻隆 SAKAMAKI Takashi
"	橋本信明 HASHIMOTO Nobuaki
Candidate Regional Committee-member	金子治郎 KANEKO Jiro
"	吉沢正文 YOSHIZAWA Masafumi
"	巴陵宣正 HARYO Nobumasa
"	山田四郎吉 YAMADA Shirokichi
"	山田千一 YAMADA Senichi
"	横山良光 YOKOYAMA Yoshimitsu
"	直江清 NAOE Kiyoshi
"	内山弘正 UCHIYAMA Hiromasa

5. 東海 Tokai Regional Committee (As of May 1, 1951)

Regional Committee-member and Superintendent	長谷川民之助 HASEGAWA Taminosuke
Regional Committee-member	小沢要 OZAWA Kaname
"	遠藤陽之助 ENDO Yonosuke

Regional Committee-member	木村繁夫 KIMURA Shigeo
"	砂間一良 SUNAMA Kazuyoshi
"	加藤進 KATO Susumu
"	尾関善一 OZEKI Zenichi
"	神谷光次 KAMIYA Koji
"	吉葉清一 YOSHIBA Kiyoichi
"	吉見春雄 YOSHIMI Haruo
"	吉田研二 YOSHIDA Kenji
"	太田哲二 OTA Tetsuji
"	田島ひで TAJIMA Hide
Candidate Regional Committee-member	杉山光雄 SUGIYAMA Mitsuo
	中村宏 NAKAMURA Hiroshi
	徳井定男 TOKUI Sadao
	永田末男 NAGATA Sueo
	大羽三郎 OHBA Saburo

6. 関西 Kansai Regional Committee (As of May 1, 1951)

Regional Committee-member and Superintendent	河合数太 KAWAI Kazuta
Regional Committee-member	高田鉱造 TAKATA Kozo
"	木南博 KOMINAMI Hiroshi
"	岡本秀一 OKAMOTO Shuichi
"	速水巽妙 HAYAMIZU Taimiyo

Regional Committee-member	金丰清 KANEMOTO Kiyoshi
"	堀口恒次 HORIGUCHI Tsuneji
"	水野進 MIZUNO Susumu
"	坂井豊一 SAKAI Toyoichi
"	横田秀三 YOKOTA Hidezo
"	落合栄一 OCHIAI Eiichi
"	田中松次郎 TANAKA Matsujiro
"	牧野弘之 MAKINO Hiroyuki
Candidate Regional Committee-member	堀江壮一 HORIE Soichi
"	北牧孝三 KITAMAKI Kozozo

7. 中國 Chugoku Regional Committee (As of May 1, 1951)

Regional Committee-member and Superintendent	内藤知周 NAITO Tomokane
Regional Committee-member	徳毛宣策 TOKUGE Sensaku
"	原田長司 HARADA Choji
"	米原昶 YONEHARA Hisashi
"	亀井文治 KAMEI Bunji
"	森脇悠史 MORIWAKI Hiroshi
"	福田正義 FUKUDA Masayoshi
"	山田年一 YAMADA Kiichi
"	加戸実 KADO Minoru
Candidate Regional Committee-member	苅田浅野 KARITA Asano
"	宮脇運次郎 MIYAWAKI Tatsujiro

- 7 -

8. 四國 Shikoku Regional Committee (As of May 1, 1951)

Chairman of Regional Committee	小西正雄 KONISHI Masao
Superintendent and Regional Committee-member	植松謙藏 UEMATSU Kenzo
Regional Committee-member	岩田馨 IWATA Kaoru
"	高橋道夫 TAKAHASHI Michio
"	森田正幸 MORITA Masaki
"	元岡稔 MOTOOKA Minoru
"	御田秀一 MITA Hideichi
"	毛利孟夫 MŌRI Takeo
Candidate Regional Committee-member	三神力 MIKAMI Tsutomu
"	山本貞信 YAMAMOTO Sadanobu
"	渡辺英正 WATANABE Hidemasa
"	島崎雄幸 SHIMAZAKI Yūkō
"	川上俊男 KAWAKAMI Toshio
Secretary	島中功 SHIMANAKA Isao
"	若松務 WAKAMATSU Tsutomu

9. 九州 Kyushu Regional Committee (As of May 1, 1951)

Superintendent Regional Committee	中野礼造 NAKANO Reizo
"	山本斉 YAMAMOTO Sai
"	増田春雄 MASUDA Haruo

Regional Committee member	本荘一卓 HONJÔ Kazuma
"	福田政雄 FUKUDA Masao
"	渡辺武 WATANABE Takeshi
"	波多禅 HATA Zen
"	宮島豊 MIYASHIMA Yutaka
"	前田啓太 MAEDA Keita
"	大渕正気 ŌBUCHI Seiki
"	西里竜夫 NISHIZATO Tatsuo
"	斉藤幸 SAITO Koh
"	薄井建太郎 USUI Kentaro
"	石田憲雄 ISHIDA Norio
"	塚本周三 TSUKAMOTO Shūzo
"	梅田達雄 UMEDA Tatsuo
"	正本茂二 MASAKI Shigeji
"	佐伯新一 SAEKI Shinichi
Candidate Regional Committee-member	島生醸蔵 HATAO Tozo
"	小林薫 KOBAYASHI Kaoru
"	中野礼蔵 NAKANO Reizo
"	野田強 NODA Tsuyoshi
"	松岡信男 MATSUOKA Nobuo
"	星野力 HOSHINO Tsutomu
"	田才鮮次郎 TASAI Senjiro
"	甲山勉 KŌYAMA Tsutomu

May 15, 1951 I.D

Diagram of the Legal and Illegal Organizations

System of the Japan Communist Party.

Based on the newly revised regulations of the Japan Communist Party, the diagram of the organization system of the Party as of April 20, 1951 was suspected as shown in the annexed paper:

Note:

(a) Name list of "1" --- "3" was reported on April 11, 1951.
Name list of "4" --- "7" was reported on April 16, 1951.
Name list of "8" -- "12" was reported on May 2, 1951. (This is a detailed report)
And name lists of "13", "14", "15", "16" and "17" are as shown in the annexed paper.

(b) Name lists of District Committee ("16") and ("17") are under investigation and these will be reported as soon as these revealed.

Annexed paper

Name list of members belonging to "13" "14" "15" "16" "17".

I "13"

Armed stormtrooper of the Party

Captain 長谷川 浩 HASEGAWA Hiroshi

Vice-Captain 吉田 重男 YOSHIDA Shigeo

II "14"

Dietmen Group of the Party

(Members of the Lower House --- 24)

(Members of the Upper House --- 4)

Members of the Lower House

風早 八十二 KAZAHAYA Yasoji
今野 武雄 KONNO Takeo
池田 峯雄 IKEDA Mineo
山口 武秀 YAMAGUCHI Takehide
高田富之 TAKADA Tomiyuki
渡辺 善道 WATANABE Yoshimichi
深沢 義守 FUKASAWA Yoshimori
林 百郎 HAYASHI Hyakuro
上村 進 KAMIMURA Susumu
砂間 一良 SUNAMA Ichiro
田島 ひで TAJIMA Hide
横田 甚太郎 YOKOTA Jintaro
加藤 充 KATO Mitsuru
梨木 作次郎 NASHIKI Sakujiro

Members of the Lower House

河田 賢治
KAWADA Kenji
江崎 一治
EZAKI Kazuharu
竹村 奈良一
TAKEMURA Naraichi
苅田 アサノ
KARITA Asano
田代 文久
TASHIRO Bunkyu
柄沢 とし子
KARASAWA Toshiko
井ノ口 政雄
INOGUCHI ~~Tashio~~ MASAO.
米原 昶
YONEHARA Itaru
木村 栄
KIMURA Sakae
立花 敏男
TACHIBANA Toshio

Members of the Upper House

細川 護貞
HOSOKAWA Karoku
兼岩 伝一
KANEIWA Denichi
岩間 正男
IWAMA Masao
須藤五郎
SUDO Goro

Chief of the Dietmen Group

細川 護貞
HOSOKAWA Karoku

III "15"

Temporary Election Counter-plan, Guidance Body

Responsible persons

岩田 英一
IWATA Eiichi
和田 一造
WADA Ichizo
細川 護貞
HOSOKAWA Karoku
西沢 隆二
NISHIZAWA Ryuji
川上 貫一
KAWAKAMI Kanichi

Members

Members	砂岡 一良 SUNAMA Ichiro
Responsible persons in 北海道 Hokkaido district	鈴木 市蔵 SUZUKI Ichizo 柄沢 とし KARASAWA Tochiko
Responsible persons in 東北 Tohoku district	保坂 浩明 HOZAKA Komei 池田 峯雄 IKEDA Mineo
Responsible persons in 関東 Kanto district	細川 嘉六 HOSOKAWA Karoku 高田 富之 TAKATA Tomiyuki 中西 伊之助 NAKANISHI Inosuke 渡辺 義通 WATANABE Yoshimichi
Responsible persons in 東海 Tokai district	砂岡 一良 SUNAMA Ichiro Include other one
Responsible persons in 北陸 Hokuriku district	梨木 作次郎 NASHIKI Sakujiro Include other one
Responsible persons in 関西 Kansai district	川上 貫一 KAWAKAMI Kanichi 竹村 奈良一 TAKEMURA Naraichi 江崎 一治 EZAKI Kazuharu Include other one
Responsible persons in 中国 Chugoku district	立花 敏男 TACHIBANA Toshio 井上 政雄 INOUE Masao

Responsible persons in
九州
Kyushu district

田代 文久
TASHIRO Bunkyu

Include other one

Responsible persons in
四国
Shikoku district

林 百郎
HAYASHI Hyakuro

Include other one

IV "16" (District Committee)

北海道
Hokkaido District Committee

Chairman

佐貫 徳義
SANUKI Tokuyoshi

Committee member

当摩 憲三
TAIMA Kenzo
廣谷 俊二
HIROTANI Toshiji
荒井 英二
ARAI Eiji
西舘 仁
NISHIDATE Jin
佐々木 和
SASAKI Kazu
島 清志
SHIMA Kiyoshi
吉田 四郎
YOSHIDA Shiro
熊江 忠雄
KUMAE Tadao
瀬戸川 光信
SETOGAWA Mitsunobu
石島 英
ISHIJIMA Ei
櫻井 英孝
SAKURAI Hidataka
大橋 治郎
OHHASHI Jiro
中川 一男
NAKAGAWA Kazuo
村上 由
~~KAMIMURA~~ MURAKAMI Yoshi
ARAKI Goro
荒木 五郎
FUJII Kenzo
藤井 謙三

Committee member

小田 茂勝
ODA Shigekatsu
阿部 徹志
ABE Tetsushi

東北
Tohoku District Committee

Chairman

加賀屋 喜一郎
KAGAYA Kiichiro

Committee member

塩崎 要祥 SUKE
SHIOZAKI Yoko
橋本 節治
HASHIMOTO Setsuji
小笠原 鉄彦
OGASAWARA Tetsuhiko
西岡 慶二郎
NISHIOKA Keizaburo
渡辺 豊治
WATANABE Toyoji
西條 寛六
SAIJO Kanroku
竹内 七郎
TAKEUCHI Shichiro
和田 与平
WADA Yohei
大塚 英五郎
OHTSUKA Hidegoro
大沢 清代一
OHSAWA Kiyoichi
長岡 太戸雄
NAGAOKA Tachio
鈴木 善蔵
SUZUKI Zenzo
鈴木 義雄
SUZUKI Yoshio
鈴木 一清
SUZUKI Kiyoshi
五味 豊雄
GOMI Norio
小宮 新助
KOMORI Shinsuke

関東
Kanto District Committee

Chairman

増田 寛一
MASUDA Kanichi

Committee member

田子 一郎
TAGO Ichiro
一村 秀夫
ICHIMURA Hideo
針谷 武夫
HARIYA Takeo
矢野 修
YANO Osamu

Committee member

市吉 常弘
ICHIYOSHI Tsunehiro
糸川 二一郎
ITOGAWA Niichiro
根本 寛一郎
INOMOTO Kanichi
奥野 邦比古
OKUNO Kunihiko
小原 喜代二
OHARA Kiyoji
菊地 重作
KIKUCHI Jusaku
木村 三郎
KIMURA Saburo
小林 富夫
~~KOMURA~~ KOBAYASHI Fukio
坂内 一登司
SAKAUCHI Kazutoshi
寺田 貢
TERADA Mitsugu
増田 太助
MASUDA Tasuke
丸山 一郎
MARUYAMA Ichiro
安藤 一義
ANDO Kazushige

東海
Tokai District Committee

Chairman

長谷川 民之助
HASEGAWA Taminosuke

Committee member

加藤 進
KATO Susumu
神谷 光次
KAMIYA Mitsuji
吉葉 清一
YOSHIBA Seiichi
太田 哲二
OHTA Tetsuji
尾関 善一
OZEKI Zenichi
吉見 春雄
YOSHIMI Haruo
吉田 研一
YOSHIDA Kenji
田島 出
TAJIMA Hide
松本 文雄
MATSUMOTO Fumio

北陸
Hokuriku District Committee

Chairman	田中 策三 TANAKA Sakuzo
Committee member	岩林 虎之助 IWAHAYASHI Toranosuke
	巴陵 宣正 BARYO Norimasa
	浜 春城 HAMA Haruo
	寺島 泰治 TERAJIMA Taiji
	蓑沢 四郎 NIRASAWA Shiro
	大桑 孝雄 OKUWA Takao
	安藤 義雄 ANDO Yoshio
	石野 栄作 ISHINO Eisaku
	佐藤 彦七 SATO Hikoshichi
	坂巻 隆 SAKAMAKI Takashi
	橋本 信明 HASHIMOTO Nobuaki
	階戸 義晃 SHINADO Yoshio
	松島 治重 MATSUSHIMA Harushige
	大沢 三郎 OHSAWA Saburo
	関川 清一 SEKIKAWA Seiichi

関西
KanSAi District Committee

Chairman	河合 数太 KAAI Kazuta
Committee member	木南 博 KINAMI Hiroshi
	牧野 弘之 MAKINO Hiroyuki
	堀江 勇一 HORIE Yuichi
	岡本 秀一 OKAMOTO Hideichi
	速水 泰助 HAYAMIZU Taimyo

Committee member

金本 清
KANAMOTO Kiyoshi
堀口 恒次
~~HORI~~ Tsuneji
HORIGUCHI
水野 進
MIZUNO Susumu
吸井 豊一
SAKAI Toyoichi
落合 栄一
OCHIAI Eiichi
田中 松次郎
TANAKA Matsujiro
高田 鉱造
TAKADA Kozo
北牧 孝三
KITAMAKI Kozo
横田 秀三
YOKOTA Hidezo

中口
Chugoku District Committee

(a) Temporary Guidance Body of the Reigning Faction

Chairman

梶田 茂穂
KAJITA Shigeho

Committee member

村上 経行
MURAKAMI Keigyo
岡本 卓二
OKAMOTO Takuji
毛利 立夫
MORI Tateo
原田 唐男夫
HARADA Karuo
米原 永旦
YONEHARA Itaru

District Committee of the International Faction

Chairman

内藤 知周
NAITO Chishu

Committee member

原田 長司
HARADA Choji
宮脇 隆吉
MIYAWAKI Ryukichi
亀井 文治
KAMEI Bunji

Committee member

KANDA Asano

MORIWAKI Hiroshi

FUKUDA Masayoshi

ITO Isao

YAMADA Kiichi

KAAI Tetsu

KADO Minoru

OKABE Hiroichi

MIYAWAKI Tatsujiro

Kyushu District Committee

Chairman

MAEDA Keita

Committee member

YAMAMOTO Sei

HONJO Kazuma

OHBUCHI Seiki

HATA Zen

NISHIZATO Tatsuo

TSUKAMOTO Shuzo

MIYAJIMA Yutaka

MASUDA Haruo

SAITO Ko

ISHIDA Norio

WATANABE Takeshi

SAHEKI Shinichi

MASAKI Shigeji

USUI Kentaro

Committee member — 福田 茂 FUKUDA Shigeru

四口
Shikoku District Committee

Chairman — 小西 政雄 KONISHI Masao

Committee member — 岩田 馨 IWATA Kaoru
高橋 道夫 TAKAHASHI Michio
森田 正幸 MORITA Masaki
元岡 稔 MOTOOKA Minoru
植松 謙三 UEMATSU Kenzo
毛利 武夫 MORI Takeo
御田 秀一 MITA Hideichi
川上 俊男 KAWAKAMI Toshio
平島 仁 HIRASHIMA Hitoshi

V "17"

Chairman of the various prefectural committee

Chairman of south part

北海道 of Hokkaido — 大和 左祐 YAMATO Sasuke
札幌 Sapporo — 清水 英明 SHIMIZU Eimei
小樽 Otaru — 寺井 勝夫 TERAI Katsuo
上川 Kamikawa — 宮口 三郎 MIYAGUCHI Saburo
日高 Hidaka — 村上 富夫 MURAKAMI Tomio
胆振 Iguri — 前田 敬 MAEDA Takashi
十勝 Tokachi — 吉田 勝 YOSHIDA Masaru
北見 Kitami — 安原 卓二 YASUHARA Takuji

空知 Sorachi		坂東 孝一 BANTO Koichi
渡前 Rumoi		村上 久治 MURAKAMI Kuniji
宗谷 Soya		高橋 忠 TAKAHASHI Tadashi
	青森 Chairman of Aomori Prefecture	塩崎 要祐 SHIOSAKI Yosuke
	秋田 " Akita Prefecture	小沢 三千雄 OZAWA Michio
	山形 " Yamagata Prefecture	滝口 幸政 TAKIGUCHI Kosei
	岩手 " Iwate Prefecture	柳館 与吉 YANAGIDATE Yokichi
	宮城 " Miyagi Prefecture	西條 寛六 SAIJO Kanroku
	福島 " Fukushima Prefecture	富田 良吾 TOMITA Ryogo
	千葉 " Chiba Prefecture	吉田 純 YOSHIDA Jun
	茨城 " Ibaragi Prefecture	箱崎 満寿雄 HAKOSAKI Masuo
	栃木 " Tochigi Prefecture	小原 喜代一 OHARA Kiyoji
	神奈川 " Kanagawa Prefecture	丸山 一郎 MARUYAMA Ichiro
	東京 " Tokyo Metropolis	阿部 喜美 ABE Yoshimi
	群馬 " Gumma Prefecture	堤 源珠 TSUTSUMI Genju
	埼玉 " Saitama Prefecture	平田 篤吉 HIRATA Tokichi
	山梨 " Yamanashi Prefecture	秋山 保太郎 AKIYAMA Yasutaro
	愛知 " Aichi Prefecture	楠美 茂 KUSUNASHI Shigeru
	岐阜 " Gifu Prefecture	山下 雅吉 YAMASHITA Masakichi
	三重 " Mie Prefecture	木村 繁雄 KIMURA Shigeo
	静岡 " Shizuoka Prefecture	上杉 二郎 UESUGI Jiro
	長野 " Nagano Prefecture	田中 操吉 TANAKA Sokichi
	新潟 " Niigata Prefecture	関川 清一 SEKIKAWA Seiichi
	石川 " Ishikawa Prefecture	大桑 孝雄 OHKUWA Takao
	富山 " Toyama Prefecture	二瓶 正夫 NIHE Masao

Chairman of	大阪 Osaka Prefecture	水野 進 MIZUNO Susumu
"	京都 Kyoto Prefecture	小柳 洋妙 KOYANAGI Yoyo
"	奈良 Nara Prefecture	乾 貞夫 INUI Sadao
"	兵庫 Hyogo Prefecture	金本 修 KANEMOTO Kiyoshi
"	滋賀 Shiga Prefecture	濱 長三郎 HAMA Chosaburo
"	和歌山 Wakayama Prefecture	彦坂 俊次 HIKOSAKA Toshiji
"	福井 Fukui Prefecture	三田村 昭 MITAMURA Akira
"	広島 Hiroshima Prefecture	田村 幸人 TAMURA Kojin
"	山口 Yamaguchi Prefecture	岡本 尚 OKAMOTO Hisashi
"	島根 Shimane Prefecture	岡本 貞雄 OKAMOTO Sadao
"	鳥取 Tottori Prefecture	米村 健 YONEMURA Ken
"	岡山 Okayama Prefecture	青井 健一 AOI Kenichi
"	福岡 Fukuoka Prefecture	高倉 金二郎 TAKAKURA Kinjiro
"	長崎 Nagasaki Prefecture	福岡 淳次郎 FUKUOKA Junjiro
"	熊本 Kumamoto Prefecture	西里 竜夫 NISHISATO Tatsuo
"	鹿児島 Kagoshima Prefecture	佐々木 昌治 SASAKI Masaji
"	大分 Ohita Prefecture	惠藤 信行 ETO Nobuyuki
"	佐賀 Saga Prefecture	金子 正道 KANEKO Masamichi
"	宮崎 Miyazaki Prefecture	沢 重徳 SAWA Shigenori
"	香川 Kagawa Prefecture	宮井 進一 MIYAI Shinichi
"	愛媛 Ehime Prefecture	~~ASHI~~SEN 鷲田 進 ~~ASHI~~DA Susumu
"	徳島 Tokushima Prefecture	高橋 道夫 TAKAHASHI Michio
"	高知 Kochi Prefecture	森田 正栄 MORITA Masaki

That's all.

Source A. A-157.7 Oguma

J.C.P. Control Committee

OD,JO,No 401

April 11th, 1951.

Movements of the J.C.P. Control Committee.

The Party Control Committee despatched, concerning the inspection for the Party organs, the instructions as follows to its lower structures on April 5.

(Outline)

Concerning the enforcement of inspection for each organ.

With the clamor of the rumor of the Party dissolution, the tendency that the leaders and comrades of each Party organ, believing its realization, are becoming indifferent to the Party movement is thick and, in the result of it, the foundation of the pyramid is about to be crumbled.

Whether the Party would be illegalized or not is not definite judged from every state of affairs. Even if it is realized, the view that its time will be the end of this year is strong. At this time, that the comrades look on with folded arms thinking the dissolution is inevitable merely lets the Party movement be retrogressive and means we are checking ourselves the

the promising long stride and progress.

Hence, the Party center slated to enforce the inspection at this important time and inquire into how each Party organ is carrying on its movement over all. Therefore we expect you comrades that you let this scheme be effective cooperatedly.

1. The time of enforcement of the inspection:

   Since April 15 till May 25.

2. The method of enforcement of the inspection:

   A. The Control Committee deals with various special section of the Headquarters.

   B. The Control Committee and the members of the Guidance Section of various special department deal with the auxiliary organizations.

   C. The Control Committee deals with each Regional Committee.

   D. The Control Committee and each Guidance Section of the Regional Committees deal with each Metroplitan and Prefectural Committee.

   E. Each Guidance Section of Metropolitan and Prefectural Committees deal with various Area and Municipal Committees.

   F. Each Guidance Section of Metropolitan, Prefectural and Area Committee deal with various Ward and All-group Committee.

G. Each Area Committee deals wi th only desi gnated Cells.

H. Concerning Groups, it will be indicated each time.

3. The details of the inspection:

A. Concerning the financial movement:

Arrangement conditions of furnished books at the organ.

Contents of the financial movement at large.

B. Concerning the organ movement:

Details of the specific organ of the organ.

The handling of the Headquarters directive.

C. Concerning the labor union movement:

The relief movement conditions of the red-purgees.

The handling of the directive in February, 1951.

The conditions of the special manoeuvering corps.

And investigation ites per each special department.

And finally, as the research of conditions of illegal movement, below mentioned matters are slated to be investigation:

(a) The plan of illegal movement at present

(b) The plan of struggle movement at the time of dissolution.

concerning the (b), the words "Directive on March 16, 1951. Items of the Party Out-law Struggle".

are used and that the Party had ordered the struggle at the time of dissolution to the terminal organs is endorsed.

The "Directive on March 16, 1951. Items of the Party Out-law Struggle." is expected to be acquired in other way.

A-100.7

Dep Organizat

Source SIB

Police info

compiled

Unreliable

April 17, 1951. L.O.

Personnel Shake-Up in JCP

(Second Report)

SIB has already reported on some detailed accounts of the personnel shake-up of JCP which is believed to have been decided in the ZENKOKU KYOGI KAI (All-Japan Council) of JCP held in an unidentified place on February 23 of this year. Further Steps in the shake-up cleared up later shall be shown in the following line-ups:

1. S.G. SHIDO BU

(S.G. Guidance Body; S.G.=Surveyors' Group(?)):

A. CHUO SHIDO BU

(Central Guidance Body):

SHIINO	Etsuro	HOSAKA	Komei
NISHIZAWA	Ryuji	INOUE	Mrio
YAMABE	Kentaro	KOMATSU	Yuichiro
KAWADA	Kenji	FUKAYA	Susumu
WADA	Ichizo	KONNO	Takeo
IWAMOTO	Iwao		

B. CHIHO SHIDO BU (Local Guidance Body):

Hokkaido region:	FUKAYA Susumu
Tokai region:	KOMATSU Yuichiro
Tohoku region:	KONNO Takeo

関東
Kanto region: 西沢隆二 NISHIZAWA Ryuji

北陸
Hokuriku region: 岩本巌 IWAMOTO Iwao

中国
Chugoku region: 山辺健太郎 YAMABE Kentaro

九州
Kyushu region: 鍋田一造 WADA Ichiro

Foreigners: 保坂治明 HOSAKA Komei

河田賢治 KAWADA Kenji

Subsidized organizations :

2. レポ指導部 REPO SHIDO BU

(Repo Guidance Body):

西沢 NISHIZAWA 隆二 Ryuji
北川 KITAGAWA 泰美 Yoshimi
山本 YAMAMOTO 秋 Aki
林 HAYASHI 俊一 Shun-ichi
清水 SHIMIZU 達夫 Tatsuo
能勢 NOSE 克男 Katsuo
小出 KOIDE 孝 Takashi

3. 第二戦線指導部 DAI-NI SENSEN SHIDO BU

(Second Front Guidance Body):

椎野 SHIINO 悦朗 Etsuro
伊藤 ITO 武郎 Takero(purged)
岩田 IWATA 英一 Eiichi
福本 FUKUMOTO 和夫 Kazuo
杉本 SUGIMOTO 文雄 Fumio
湯浅 YUASA 芳子 Yoshiko
堀江 HORIE 邑一 Yuichi
磯野 ISONO 信武 Nobutake
川上 KAWAKAMI 貫一 Kan-ichi
大竹 OTAKE 博吉 Hirokichi
保坂 HOSAKA 治明 Komei
松村 MATSUMURA 一人 Kazuhito
阿部 ABE 義美 Yoshimi
高原 TAKAHARA 晋吉 Shinkichi
西沢 NISHIZAWA 隆二 Ryuji
于 U 思洋 On-yo
櫛田 KUSHIDA フキ Fuki

4. 党再建委員会
TO SAIKEN IINKAI
(Party Reestablishment Committee):

A. Standing Committeemen:

椎野	悦朗	鈴木	市松
SHIINO	Etsuro	SUZUKI	Ichizo
上村	進	細川	嘉六
KAMIMURA	Susumu	HOSOKAWA	Karoku
井上	盛雄	徳永	直
INOUE	Morio	TOKUNAGA	Naoshi
立田	青雲	川上	貫一
TATSUTA	Seiun	KAWAKAMI	Kan-ichi
志田	重義		
SHIDA	Shigeyoshi		

B. Committeemen:

山辺	健太郎	伊藤	武雄
YAMABE	Kentaro	ITO	Takeo (purged)
岩田	英一	赤羽	勝美
IWATA	Eiichi	AKAIWA	Katsumi
保坂	浩明	兼岩	傳一
HOSAKA	Komei	KANEIWA	Den-ichi
風早	八十二	村山	知義
KAZAHAYA	Yasoji	MURAYAMA	Tomoyoshi
鹿地	亘	川崎	三郎
KAJI	Wataru	KAWASAKI	Misaburo
林	百郎	横田	甚太郎
HAYASHI	Hyakuro	YOKOTA	Jintaro

5. Regional Committees and their Chairmen:

北海道		讃岐	徳義
Hokkaido		SANUKI	Tokuyoshi
東北		橋本	節治
Tohoku		HASHIMOTO	Setsuji
関東		古川	祐一
Kanto		FURUKAWA	Yuichi
北陸		田中	栄三
Hokuriku		TANAKA	Eizo
関西		田中	松二郎
Kansai		TANAKA	Matsujiro
東海		長谷川	民之助
Tokai		HASEGAWA	Taminosuke
中国		梶田	茂穂
Chugoku		KAJITA	Shigeho
九州		前田	啓太
Kyushu		MAEDA	Keisuke TA.
四国		小西	政雄
Shikoku		KONISHI	Masao

6. 関東 Kanto Regional Committee:

Chairman	古川 FURUKAWA	祐一 Sukeichi
Member	市吉 ICHIYOSHI	庸吉 Yasukichi
"	丸山 MARUYAMA	一郎 Ichiro
"	内実 UCHIMI	義樹 Yoshiki
"	平田 HIRATA	藤吉 Tokichi
"	小原 OHARA	喜代二 Kiyoji
"	坂内 SAKAUCHI	一登司 Kazutoshi
"	箱崎 HAKOSAKI	満寿男 Masuo
"	小林 KOBAYASHI	富夫 Fukio
Accountant	森 MORI	権蔵 Kenzo

A-100
#1

April 11, 1951 I.D.

Personnel Change of the Japan Communist Party

I A personnel change of the Japan Communist Party was made on March 1, 1951.

It is likely that a decision was make on this change by the Fourth National Council of the Japan Communist Party held at an unknown place for five days from February 23. In this connection, the National Council mentioned above held temporarily by the Central Committee during the term between the general assemblies of the Party is an organ to discuss the urgent polices of the Japan Communist Party and also the supreme organ of the Party substituting a general assembly that can command the principal personnel affairs and consists of the Central Committee members and representatives of the local organizations of the Party.

The personnel change of the Japan Communist Party announced on March 1 is as follows:

Acting chairman of the Control Committee

○ 山辺健太郎
YAMABE Kentaro

Member of the Control Committee

岡田文吉
OKADA Bunkichi

Member of the Control Committee
西沢隆二
NISHIZAWA Ryuji

"
岩本 巌
IWAMOTO Iwao

"
椎野 悦郎
SHIINO Etsuro

Chief of the General Affairs Division
内野竹千代
UCHINO Takechiyo

Chief of the Financial Policy Division
岡田文秀
OKADA Bunkichi

Vice-chief of the Financial Policy Division
井上孟雄
INOUE Morio

"
太田慶太郎
OHTA Keitaro

Chief of the Personnel Affairs Division
岩田英一
IWATA Eiichi

Chief of the Investigation Division
堀江幸一
HORIE Yukichi

Vice-chief of the Investigation Division

Undecided

Chief of the Labor Union Division
鈴木市蔵
SUZUKI Ichizo

Vice-chief of the Labor Union Division
木村 三郎
KIMURA Saburo

Vice-chief of the Labor Union Division
藤川 義太郎
FUJIKAWA Gitaro

Chief of the Farmers' Division
小原 義
OHARA Yoshimi

Vice-chief of the Famers' Division
池田 峯雄
O IKEDA Mineo

"
深谷 進
O FUKAYA Susumu

Chief of the Cultural Division
大村 英之助
OHMURA Einosuke

"
村山 智義
MURAYAMA Tomoyoshi

Chief of the Education and Propaganda Division
小松 雄一郎
KOMATSU Yuichiro

Vice-chief of the Education and Propaganda Division
山本 秋
YAMAMOTO Aki

"
清水 道夫
SHIMIZU Michio

Chief of the Scientific Technique Division
石井 金之助
ISHII Kinnosuke

Vice-chief of the Scientific Technique Division
林 俊一
O HAYASHI Toshi-ichi

Chief of the Publication Division (additional)
和田 一造
WATA Ichizo

Vice-chief of the Publication Division
松本正治
MATSUMOTO Masaharu

Chief of the Organ Paper Division
鞭園一造
WATA Ichizo

Vice-chief of the Organ Paper Division
矢野修
YANO Osamu

Chief of the Women's Division
苅田アサノ
O KARITA Asano

Vice-chief of the Women's Division
井上信子
O INOUE Nobuko

Chief of the Youth Counter-measure Division
今野武雄
O KONNO Takeo

Vice-chief of the Youth Counter-measure Division
小林信
KOBAYASHI Shin

M.L. Laboratory
伊豆公夫
O IZU Kimio

Chairman of the Temporary Central Guidance Body of the Party
椎野悦郎
SHIINO Etsuro

Acting chairman of the Temporary Central Guidance Body of the Party
河田賢治
KAWADA Kenji

Member of the Temporary Guidance Body
鞭園一造
WATA Ichizo

〃 鈴木市蔵
SUZUKI Ichizo

Member of the Temporary Guidance Body
杉本 文雄
SUGIMOTO Fumio

Chief of the Citizen Counter-measure Division (additional)
岩田英一
IWATA Eiichi

Vice-chief of the Citizen Counter-measure Division
松島 松太郎
MATSUSHIMA Matsutaro

Chief of the Local Administration Counter-measure Division
風早 八十二
KAZAHAYA Yasoji

Vice-chief of the Local Administration Counter-measure Division
横田 喜三郎
O YOKOTA Kinjaro

Chief of the Organization Guidance Division
川上 貫一
O KAWAKAMI Kanichi

Vice-chief of the Organization Guidance Division
土岐 強
TOKI Tsuyoshi

Chief of the Pioneer Guidance Division
正木 亮
HIJIKATA Toshi

Vice-chief of the Pioneer Guidance Division
江口 漢
O EGUCHI Kan

"
江間 修
O EMA Osamu

Chief of the Enterprise Division
上村 進
KAMIMURA Susumu

Vice-chief of the Enterprise Division
立花 誓雲
TATSUTA Seiun

Chief of the Dietmen's Group of the Party

福本和夫
FUKUMOTO Kazuo

Member of the Temporary Guidance Body Congress of the Party

岩田英一
IWATA Eiichi

"
保坂浩明
HOSAKA Komei

"
砂間一良
SUNAMA Ichiro

"
西館仁
NISHITATE Jin

"
山辺健太郎
YAMABE Kentaro

"
西沢隆二
NISHIZAWA Ryuji

"
岡田文吉
OKADA Bunkichi

"
細川嘉六
HOSOKAWA Karoku

"
堀江邑一
HORIE Yuichi

"
上村進
KAMIMURA Susumu

"
岩本巌
IWAMOTO Iwao

Member of the Temporary Guidance Body Congress of the Party

福本 和夫
FUKUMOTO Kazuo

"

川上 貫一
KAWAKAMI Kanichi

"

木村 三郎
KIMURA Saburo

Note: A person marked O is a newly-appointed.

It seems that two or three divisions are established in addition.

Source X. Jcp program item A-100.7 O

OD,JO,No 346

Mar. 12M, 1951

Reshuffle in the Japan Communist Party
including change of the Personnel
Division Chief.

1 March 1951

YAMABE Kentaro, Chief of Personnel Division of the Japan Communist Party Headquarters, was shifted on March 1 from his post to the office as acting chairman of the Control Committee of the Party, which was followed by the reshuffle of the Party members as was reported in the Party weekly dated March 1. as follows :

(Remarks: Mark O shows newly appointed member)

Chairman pro-tempore of Control Committee:	O	YAMABE Kentaro
Member of Control Committee		OKADA Fumikichi
"		NISHIZAWA Ryuji
"		IWAMOTO Iwao
"		SHIINO Etsuro

46

Chief of Business Division	UCHINO Takechiyo
Chief of Finance Division	OKADA Bunkichi
Vice-Chief of Finance Division	INOUE Morio
"	O OTA Keitaroro
Chief of Personnel Affairs Division	IWATA Eiichi
"	SUZUKI Ichizo
Chief of Labor Union Division	KIMURA Saburo
"	O FUJIKAWA Yoshitaro
"	KOHARA Yoshi
Chief of Farmers Division	O IKEDA Mineo
Vice-Chief of Farmers Division	O FUKAYA Susumu
"	OMURA Einosuke
Chief of Culture Division	MURAYAMA Tomoyoshi
Vice-Chief of Culture Division	KOMATSU Yuichiro
Chief of Propaganda & Education Division	YAMAMOTO Aki
Vice-Chief of Propaganda & Education Division	O SHIMIZU Tatsuo
"	HORIE Yuichi
Chief of Examination Division	uncertain
Vice-Chief of Examination Division	ISHII Kinnosuke
Chief of Scientific Technique Division	

Vice-Chief of Scientific Technique Division	O	MAYASHI Syunichi
Chief of Publication Division (Additional Post)		WASA Ichizo
Vice-Chief of Publication Division		MATSUMOTO Syoji
Chief of Organ Division		WADA Ichizo
Vice-Chief of Organ Division		YANO Osamu
Chief of Women's Division	O	KARITA Asano
Vice-Chief of Women's Division	O	INOUE Nobuko
Chief of Youth Affairs Division		IMANO Takeo
Vice-Chief of Youth Affairs Division		KOBAYASHI Nobu
Chief of Citizen Affairs Division (Additional Post)		IWATA Eiichi
Vice-Chief of Citizen Affairs Division		MATSUSHIMA Matsutaro
Chief of Local Administration Division		KAZEHAYA Yasoji
Vice-Chief of Local Administration Division	O	YOKOTA Jintaro
Chief of Organization Guidance Divivsion	O	KAWAKAMI Kanichi
Vice-Chief of Organization Guidance Division		DOKI Kyo
Chief of Pioneer Members Guidance Division		HIJIKATA Yoshi
Vice-Chief of Pioneer Members Guidance Division	O	EGUCHI Kan

Vice-Chief of Pioneer Members Guidance Division	O	EMA Syu
Chief of Enterprise Division		UEMURA Susumu
Vice-Chief of Enterprise Division		TATTA Ritsuun
Marx-Lenin Research Institute	O	IZU Kimio
Chief of Communist Diet Members Group		HOSOKAWA Karoku
Head of National Organizers Body		FUKUMOTO Kazuo
Chairman of Party Temporary Central Guidance Division		SHIINO Etsuro
Chairman Pro-tempore of Party Temporary Central Guidance Division		KAWATA Kenji
Member of Conference Section of Party Temporary Central Guidance Division		WADA Ichizo
"		SUZUKI Ichizo
"		SUGIMOTO Fumio
"		IWATA Eiichi
"		HOSAKA Komei
"		SUNAMA Ichiryo
"		NISHIDATE Jin
"		YAMABE Kentaro
"		NISHIZAWA Takaji
"		IWAMOTO Iwao
"		OKADA Bunkichi

Member of Conference Section of Party Temporary Central Guidance Division — FUKUMOTO Kazuo

" — HOSOKAWA Karoku

" — KAWAKAMI Kanichi

" — HORIE Yuichi

" — KIMURA Saburo

— uemura Susumu

No announcement was made as to the personnel change in other divisions than the above but several divisions are likely to be established newly.

Replaced by NISHIZAWA, OMURA Einosuke was transferred from office as Chief of Organ Paper Division to office as chief of Culture Division.

Referring to the reshuffle this time, YAMABE Kentaro discontentedly aired his view as follows:

" This is a personnel change by which to transfer me to the office as acting Chairman of the Control Committee, which spreaded to the other divisions. As far as I am concerned, it is rather better for me to be in office as Chief of Personnel Division in which I can hold the real power of the Party. I have just been driven to a sinecure office.

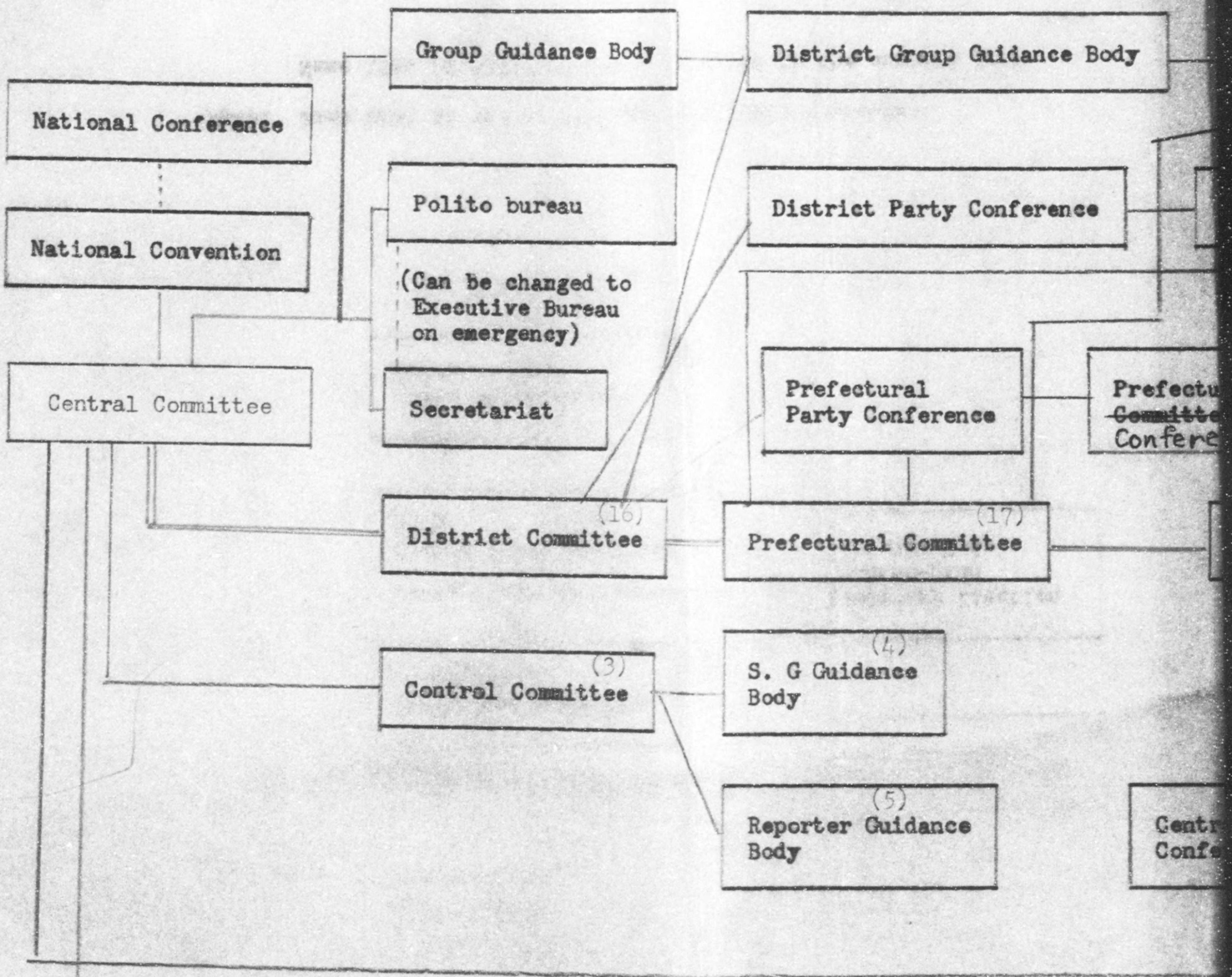
By the reshuffle this time is meant that Tokuda Faction is being replaced by SHIINO, KAWADA and MIWA factions which are being formed within the Party. It is reported that the personnel change this time was approved by top leaders of the Party. At any rate the clasification of these Divisions is only nominal and so even the Party members themselves do not know the existence of them. Anyhow, a consideration should be given to such an one-sided personnel adminstration of the Party.

Purpose of / Permit mission?

Deagram of Legal and Illegal Organizations S

of the Japan Communist Party

As o



and Illegal Organizations System

Japan Communist Party

As of April 20, 1951

Group Organizer

Organizer

Area Conference

nference

Cell Group Party Conference

Cell Conference

Squad Conference

Cell Group Committee

Cell Committee

Cell

Squad

(9)

ido District
e Conference

Hakodate Port Area

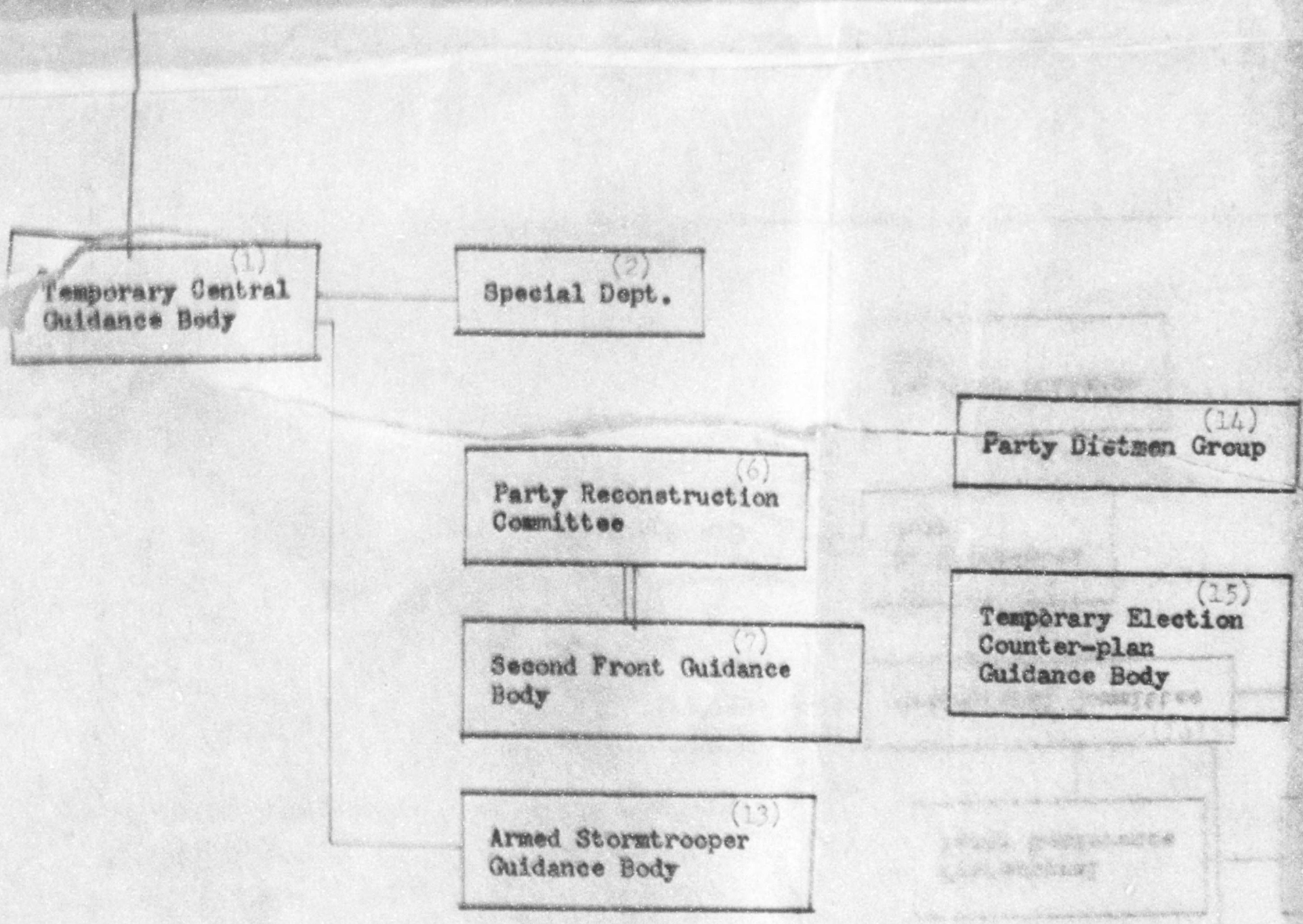
Otaru Port Area

Muroran Port Area

(10)

n District
e Conference

Kushiro Port Area



Note: Name list of "1" -- "12" was previously reported.

Name list of "13" -- "17" is as shown in the annexed paper.

関西 (11)
Kansai District
Marine Conference

(14)
Party Dietmen Group

(15)
Temporary Election
Counter-plan
Guidance Body

九州 (12)
Kyushu District
Marine Conference

ously reported.

own in the annexed paper.

(11)
rict
rence

(12)
trict
ference

Shibaura Port Area

Yokosuka Port Area

Tateyama Port Area

Osaka Port Area

Kobe Port Area

Moji Port Area

Wakamatsu Port Area

Nagasaki Port Area

Sasebo Port Area

Kagoshima Port Area

JUN, /, 1951. I.D.

List of Important Activists of the
International Faction of the Japan
Communist Party.

We have honor to report the list of the International Faction's Members who have the position over the Prefectural Committee Member and seem to be active at present as follows:

Central Headquarters

Name	Name of belonging organization	Disposition by Reigning Faction	Reason
志賀義雄 SHIGA Yoshio	Ex-member of Central Committee member Purged person dated June 6, 1950.	(Date of dismissal) 関西 Kansai District applied for dismissal (July 28, 1950)	志賀 SHIGA's statement
宮本顕治 MIYAMOTO Kenji	Ex-Chairman of Central Control Committee Purged person dated June 6, 1950.	ditto	Faction movement
春日庄次郎 KASUGA Shojiro	Ex-member of Central Committee member Purged person dated June 6, 1950.	ditto	ditto
遠坂良一 TOSAKA Ryoichi	Ex-candidate of Central Committee member	Central Committee determined dismissal (July 18, 1950)	ditto
袴田里見 HAKAMADA Satomi	Ex-member of Central Committee member Purged person dated June 6, 1950.	南西 Kansai District applied for dismissal (July 28, 1950)	ditto

亀山 幸三 KAMEYAMA Kozo	Ex- member of Central Committee member Purged person dated June 6, 1950.	関西 Kansa District	applii ecfor dismissal (July 28 1, 1950)	Faction movement
蔵原 惟人 KURAHARA Koreto	ditto			ditto
増田 格之助 MASUDA Kakunosuke	Ex-member of Central Control Committee	Centra Committee	determined dismissal (July 3,1 1950)	ditto
松本 惣一郎 MATSUMOTO Soichiro	ditto			ditto
多田 留治 TADA Tomeji	Ex-member of Temporary Central Guidance Body	Centra Committee	determined dismissal (Aug. 1, 15 1950)	ditto
	北海道 Hokkaido District			
宮川 寅夫 MIYAKAWA Torao	Ex-member of Hokkaido District Committee	北海道 Hokkaid Dodistrict	applied for dismissal (Aug. 2, 3,1950)	Faction movement
佐々木 和 SASAKI Kazu	ditto			ditto
	東北 Tohoku District			
日野 定利 HINO Sadatoshi	Ex-candidate of Tohoku District Committee	東北 DistrictCommittee	applied orf dismisal (Aug. 17 1, 950)	Faction movement
鈴木 巌男 SUZUKI Iwao	ditto	ditto		ditto
佐久間 勇 SAKUMA Isamu	ditto	ditto		ditto
高木 松太郎 TAKAGI Matsutaro	Ex-Chief of Finance Division	ditto		ditto
小林 良一 KOBAYASHI Ryoichi	ditto	ditto		ditto
吉田 義一 YOSHIDA Mineo	Ex-chief of Secretariat	ditto		ditto
三羽 喜彦 SANBA Yoshihiko	Ex-member of Secretariat	ditto		ditto
橋本 節次 HASHIMOTO Setsuji	Ex-chairman of Tohoku District Committee	ditto		ditto

山下 則安 YAMASHITA Noriyasu	Ex-member of 福島 Prefectural Committee	District Committee applied for dismissal (Aug. 17, 1950)	Faction movement
小平 時喜 KODAIRA Tokio	ditto	Prefectural Committee applied for dismissal (Sept. 4, 1950)	Struggle guidance was turned to Anti-class struggle.
富田 良吾 TOMITA Ryogo	ditto	ditto	Faction movement
草野 宏 KUSANO Hiroshi	Ex-chairman of Fukushima Prefectural Committee	Prefectural Committee determined dismissal (Aug. 17, 1950)	ditto
西岡 慶三郎 NISHIOKA Keisaburo	ditto	ditto	ditto
佐藤 敏子 SATO Toshiko	Ex-member of 宮城 Miyagi Prefectural Committee	ditto	ditto
坂本 知徳 SAKATSUME Chitoku	ditto	ditto	ditto
渡辺 和夫 WATANABE Kazuo	ditto	ditto	ditto
高橋 春治 TAKAHASHI Haruji	ditto	ditto	ditto
高橋 利彦 TAKAHASHI Toshihiko	ditto	ditto	ditto
泉 元子 IZUMI Motoko	ditto	Prefectural Committee determined dismissal (Aug. 7, 1950)	ditto
高橋 新一 TAKAHASHI Sshinji	ditto	ditto	ditto
板垣 さい子 ITAGAKI Saiko	ditto	Prefectural Committee determined dismissal (Aug. 17, 1950)	ditto
後藤 毅 GOTO Ki	Ex-member of 岩手 Iwate Prefectural Committee	Prefectural Committee determined dismissal (Sept. 5, 1950)	Faction movement and distribution of abuse leaflet of Central Guidance Body.
佐藤 万治 SATO Manji	ditto	ditto	ditto
川口 潔 KAWAGUCHI Kiyoshi	ditto	ditto	ditto
藤沢 耕二 FUJISAWA Koji	ditto	ditto	ditto
三羽 保彦 SANBA Yasuhiko	ditto	ditto	ditto
内田 四郎 UCHIDA Shiro	ditto	ditto	ditto

関東
Kanto District

中野 重治 NAKANO Shigeharu	Ex-chief of Culture Division	Central Committee determined dismissal (about Dec. 1950)	Faction movement
出 隆 IDE Takashi	Ex-member of Democratic Scientist Society	Central Committee determined dismissal (Apr. 1951)	
針ヶ谷 武夫 HARIGAYA Takeo	Ex-member of Saitama Prefectural Committee (Ex-member of Kanto District Committee)	Kanto District Committee determined dismissal (July, 1950)	ditto
鳥井 良史 TORII Yoshio	ditto	Unknown	ditto
野村 武秀 NOMURA Takehide	Ex-member of Ibaragi Prefectural Committee	Kanto District Committee determined dismissal (July, 1950)	Violation of Party's regulation by faction movement.
横山 静一郎 YOKOYAMA Seiichiro	ditto	ditto	ditto
桜井 実 SAKURAI Minoru	ditto	ditto	ditto
山田 隆雄 YAMADA Takao	ditto	ditto	ditto
西田 豊一 NISHIDA Toyoichi	ditto	ditto	ditto
程島 武夫 HODOSHIMA Takeo	Ex-member of Tochigi Prefectural Committee	Kanto District Committee determined suspension of activity (Sept. 1, 1950)	He held conference of organizers of International Faction.
長浜 仁作 NAGAHAMA Nisaku	Ex-candidate of Tochigi Prefectural Committee	ditto	ditto
伴 一成 BAN Kazunari	ditto	Kanto District Committee determined dismissal (Sept. 1, 1950)	He criticized decision of Reigning Faction and abused the Faction as right oppotunist.
大川 一夫 OHKAWA Kazuo	ditto	ditto	Faction movement
中島 影三 NAKAJIMA Hyozo	ditto	He is kept at a respectful distance by Reigning Faction	He is fellow-traveler of International Faction.
林 重義 HAYASHI ~~Ichiro~~ SHIGEYOSHI	ditto	ditto	ditto

柳 正一 YANAGI Shoichi	Ex-member of Tochigi Prefectural Committee	He is kept at a respectful distance by Reigning Faction	He is fellow-traveler of International Faction.
黒川 森次郎 KUROKAWA Kishichiro	ditto	ditto	ditto
近内 近 CHIKAUCHI Chika	ditto	ditto	ditto
雪江 重 YUKIE Setsu	Ex-member of Yamanashi Prefectural Committee	Prefectural Committee determined dismissal (about Mar. 1951)	Faction movement

東海
Tokai District

広瀬 善四郎 HIROSE Zenshiro	Ex-member of Shizuoka Prefectural Committee	Tokai District Committee determined his suspension of activity. (July 20, 1950)	Faction movement
永田 末男 NAGATA Matsuo	Chairman of Gifu Prefectural Committee	He deemed to be fellow-traveler.	
田中 守彦 TANAKA Morihiko	Chairman of Hida Area Committee	He deemed to be sympathizer.	

関西
Kansai District

柳田 晴夫 Yagita Haruo	Ex-member of Kansai District Committee	Kansai Area Committee applied for dismissal (July 28, 1950)	Faction movement
茅 春松 KAIYA Harumatsu	ditto	Kansai Area Committee determined suspension of activity (July 28, 1950)	ditto
浜田 甚三郎 HAMADA Jinnojo	ditto	ditto	ditto
山本 清次郎 YAMAMOTO Seijiro	Ex-member of Osaka Prefectural Committee	Osaka Prefectural Committee applied for dismissal (July 28, 1950)	ditto
下司 順吉 SHIMOSHI Junkichi	ditto	Osaka Prefectural Committee applied for suspension of activity.	ditto
平福 信行 HIRAFUKI Nobuyuki	ditto	Osaka Prefectural Committee applied for dismissal (July 28, 1950)	ditto

原村 昭二 HARAMURA Shoji	奈良 Ex-member of Nara Prefectural Committee	Osaka Prefectural Committee applied for dismissal (Aug. 16, 1950)	Faction movement
森川 正一 MORIKAWA Shoichi	ditto	Osaka Prefectural Committee applied for dismissal (Aug. 8, 1950)	ditto
原田 兵治郎 HARADA Heijiro	奈良 Ex-chairman of Nara Prefectural Committee	ditto	ditto
川那辺 光一 KAWANABE Koichi	滋賀 Ex-member of Shiga Prefectural Committee	Osaka Prefectural Committee applied for dismissal (Aug. 16, 1950)	ditto
小林 喜一郎 KOBAYASHI Kiichiro	ditto	Osaka Prefectural Committee applied for dismissal (Aug. 8, 1950)	ditto
渡辺 祐二 WATANABE Yuji	兵庫 Ex-member of Hyogo Prefectural Committee	Osaka Prefectural Committee applied for dismissal (Aug. 16, 1950)	ditto
引田 昇 HIKIDA Noboru	ditto	Osaka Prefectural Committee applied for dismissal (Aug. 8, 1950)	ditto
山田 六左エ門 YAMADA Rokuzaemon	関西 Ex-member of Kansai District Committee	Osaka Prefectural Committee applief for dismissal (July 29, 1950) Central Committee determined dismissal (Aug. 16, 1950)	ditto
大岩 保夫 OHIWA Yasuo	和歌山 Ex-member of Wakayama Prefectural Committee	Osaka Prefectural Committee applied for dismissal (Aug. 16, 1950)	ditto
岩橋 栄一 IWAHASHI Eiichi	ditto	ditto	ditto
堀江 壮一 HORIE Soichi	ditto	ditto	ditto

中国
Chugoku District

原田 長司 HARADA Choji	Member of Chugoku District Committee	Central Committee determined dismissal (Aug. 16, 1950)	Faction movement
内藤 智周 NAITO Tomoshu	Chairman of Chugoku District Committee	ditto	ditto
宮脇 隆吉 MIYAWAKI Ryukichi	Member of Chugoku District Committee	ditto	ditto
宮脇 達三郎 MIYAWAKI Tatsuzo	ditto	ditto	ditto
森脇 ~~Tadashi~~ 廣史 MORIWAKI HIROSHI	ditto	ditto	ditto
福田 正義 FUKUDA Masayoshi	ditto	ditto	ditto
岩村 大治 IWAMURA Daiji	ditto	ditto	ditto
山田 喜一 YAMADA Kiichi	ditto	Chugoku District Committee determined dismissal (Dec. 15, 1950)	ditto
岡部 弘一 OKABE Hiroichi	ditto	ditto	ditto
中下 勝 NAKASHITA Masaru	Member of Hiroshima Prefectural Committee	ditto	ditto
德毛 宣策 TOKUGE Norisaku	Chairman of Hiroshima Prefectural Committee	ditto	ditto
渡邊 力人 WATANABE Rikito	Member of Hiroshima Prefectural Committee	ditto	ditto
辻井 正三 TSUJII Shozo	ditto	ditto	ditto
天道 正人 AMAMICHI Masahito	ditto	ditto	ditto
杤原 久夫 SOGIHARA Hisao	ditto	ditto	ditto
山田 俊城 YAMADA Toshio	ditto	ditto	ditto
増川 郁郎 MASUKAWA Ichiro	ditto	ditto	ditto
久保 正由 KUBO Masayoshi	Chairman of Okayama Prefectural Committee	ditto	ditto
河合 徹 KAWAI Tetsu	Member of Okayama Prefectural Committee	ditto	ditto

青井 憲一 AOI Kenichi	Member of Okayama Prefectural Committee	Chugoku District Committee determined dismissal (Dec. 15, 1950)	Faction movement
中務 通敏 NAKAMU Michitoshi	ditto	ditto	ditto
豊田 秀男 TOYODA Hideo	Ex-member of Okayama Prefectural Committee	ditto	ditto
塩田 寅雄 SHIODA Torao	ditto	ditto	ditto
佐藤 忠男 SATO Tadao	ditto	ditto	ditto
三鷹 文郎 MITSUNOBORI Fumiro	Ex-member of Shimane Prefectural Committee	ditto	ditto

九州
Kyushu District

本庄 一夫 HONJO Kazuma	Ex-member of Kyushu District Committee	Kyushu District Committee determined dismissal (July 1, 1950)	Faction movement
井上 政太 INOUE Masata	ditto	ditto	ditto
増田 春雄 MASUDA Haruo	ditto	Kyushu District Committee determined dismissal (July 6, 1950)	ditto
内林 文男 UCHIBAYASHI Fumio	Ex-member of Fukuoka Prefectural Committee	Kyushu District Committee determined his suspension of activity. (July 10, 1950)	ditto
松永 清 MATSUNAGA Kiyoshi	ditto	Kyushu District Committee determined dismissal (July 10, 1950)	ditto
竹森 藤雄 TAKEMORI Fujio	ditto	ditto	
宮島 豊 MIYAJIMA Yutaka	Ex-chairman of Nagasaki Prefectural Committee	Kyushu District Committee determined dismissal (July 11, 1950)	Faction movement